

NAGASAKI

March 2026

59

NAGASAKI ASSOCIATION OF ARCHITECTURAL FIRMS





建築士事務所憲章

建築士事務所は、建築や環境が文化の形成に占める重要な意味を認識し、社会の健全な進歩と発展に寄与します。

- 誠意をもって設計と監理の業務を遂行し、建築主の期待に応えます。
- 健康で快適な生活環境の創造と、安全安心、持続可能で良質な資産の形成を図ります。
- 自己研鑽を怠らず、職業倫理を高め、法令遵守と公益の立場に立って最善を尽します。
- 設計意図の理解を施工者に求め、公正に工事を監理します。
- 互いに信頼を深め、連帯の精神をもって職務を全うします。

平成20年5月

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

2 特集

歴史的建築物の活用**「ホテルインディゴ長崎グラバーストリート」 (旧マリア園)**

(資料提供: 森トラスト株式会社)

26 会のうごき

- ・ 令和7年度 第59回通常総会
- ・ 令和7年度 建築士定期講習会
- ・ 令和7年度 開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会
- ・ 建築物省エネ法講習
- ・ 令和7年度 県との協議会
- ・ ながさ木の建築促進セミナー
- ・ 正会員と賛助会員とのボウリング大会と納涼懇親会
- ・ 正会員と賛助会員との新春交流会
- ・ 理事会、各委員会の活動報告

36 支部だより

- ・ 各支部の活動報告

40 INFORMATION

- ・ 長崎県建築課より

44 賛助会員名簿

49 編集後記

特 集

◎建物概要

「ホテルインディゴ長崎グラバーストリート」

工事種別：本館／内外装 全面改装 北館（別館）／新築

構造と規模：本館／レンガ造・S造一部RC造 地下1階、地上3階建て
北館（別館）／RC造 地下1階、地上2階建て

敷地面積：5505.29㎡

建築面積：1651.2㎡

延べ床面積：4561.91㎡

本館：B1階-160.49㎡（うち厨房46.64㎡）

1階-864.03㎡（うち厨房24.63㎡）

2階-733.67㎡、3階-873.17㎡

北館（別館）：B1階-551.29㎡、1階-676.56㎡、2階-682.84㎡

工期：2022年2月25日～2024年9月30日

【工事設計】

株式会社安井建築設計事務所（建築設計・構造設計・設備設計）

株式会社DESIGN STUDIO CROW（インテリアデザイン）

【新築工事施工】

大成建設株式会社 九州支店（建築）

株式会社三晃空調 九州支店（空調・衛生）

株式会社関電工 九州支店（電気）

フジテック株式会社（昇降機）

株式会社アドヴァンテック（ユニットバス）

【ホテル経営・運営】

経営：森トラスト株式会社

運営：森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社

IHG ホテルズ&リゾーツ（フランチャイズ）



1972年頃の全景

旧マリア園は、長崎湾を見下ろす眺望のよい丘の中腹に建ち、長崎旧居留地南山手地区の南端近くに位置し、グラバー邸、大浦天主堂、旧長崎税関、旧香港上海銀行などと並び南山手伝統的建造物群保存地区にある。平成2年10月23日長崎市南山手伝統的建造物群保存地区の伝統的建造物特定物件となる。



外観写真

(マリア園HPより転載)

竣工：明治31年（1898年）

設計者：ヨゼフ・セネツ修道会士

【既存建物の概要】

竣工 明治31年（1898年）

日本管区本部修道院（創建当時）

設計者・施工者 ヨゼフ・セネツ修道会氏

(Joseph Senentz) フランス人宣教師

1899~1943年 長崎清心女学校

1904~1964年 長崎清心幼稚園

1943~1945年 日本西部軍管部が使用

1945年 戦時託児所、戦災孤児院が使用

1961~2013年 大浦幼稚園（以降移転）

1945~2019年 児童福祉マリア園

（以降移転）

2019年~ 森トラスト株式会社にて敷地建物を所有

を所有

以前の所有者：社会福祉法人南山手会

児童福祉施設マリア園

◎ 事業経緯と目的、計画コンセプト

マリア園は児童養護施設として運営されていましたが、老朽化や耐震不足を理由に移転の話があり、伝統的建造物であるため長崎市にて、建物外観の保存を前提とした不動産取引の買主を探していました。

当社は、歴史的資源や文化財等の保存・活用を通じた、インターナショナルラグジュアリーホテルの開業を積極的に推進しているため、ホテルとして整備し、保存・活用することというスキームで、マリア園の外観保存に協力する形で取得させていただくことになりました。

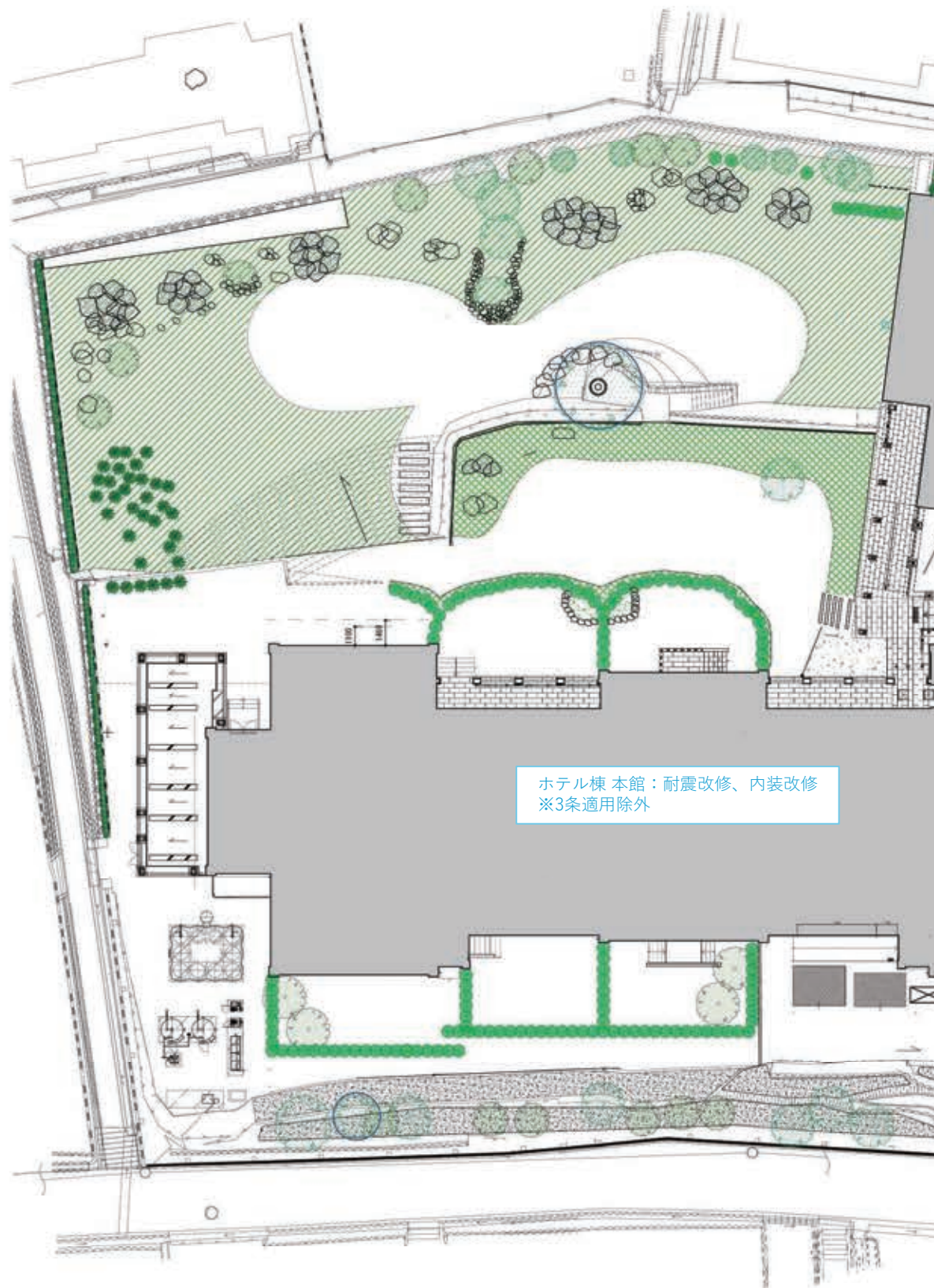
ホテルへの転用にあたり、レンガ造の本館は外観を保存しつつ内装を改修し、また、敷地北西部の既存音楽堂・付属棟を解体し、客室棟を新たに増築いたしました。

コンセプト文章：(森トラスト株)

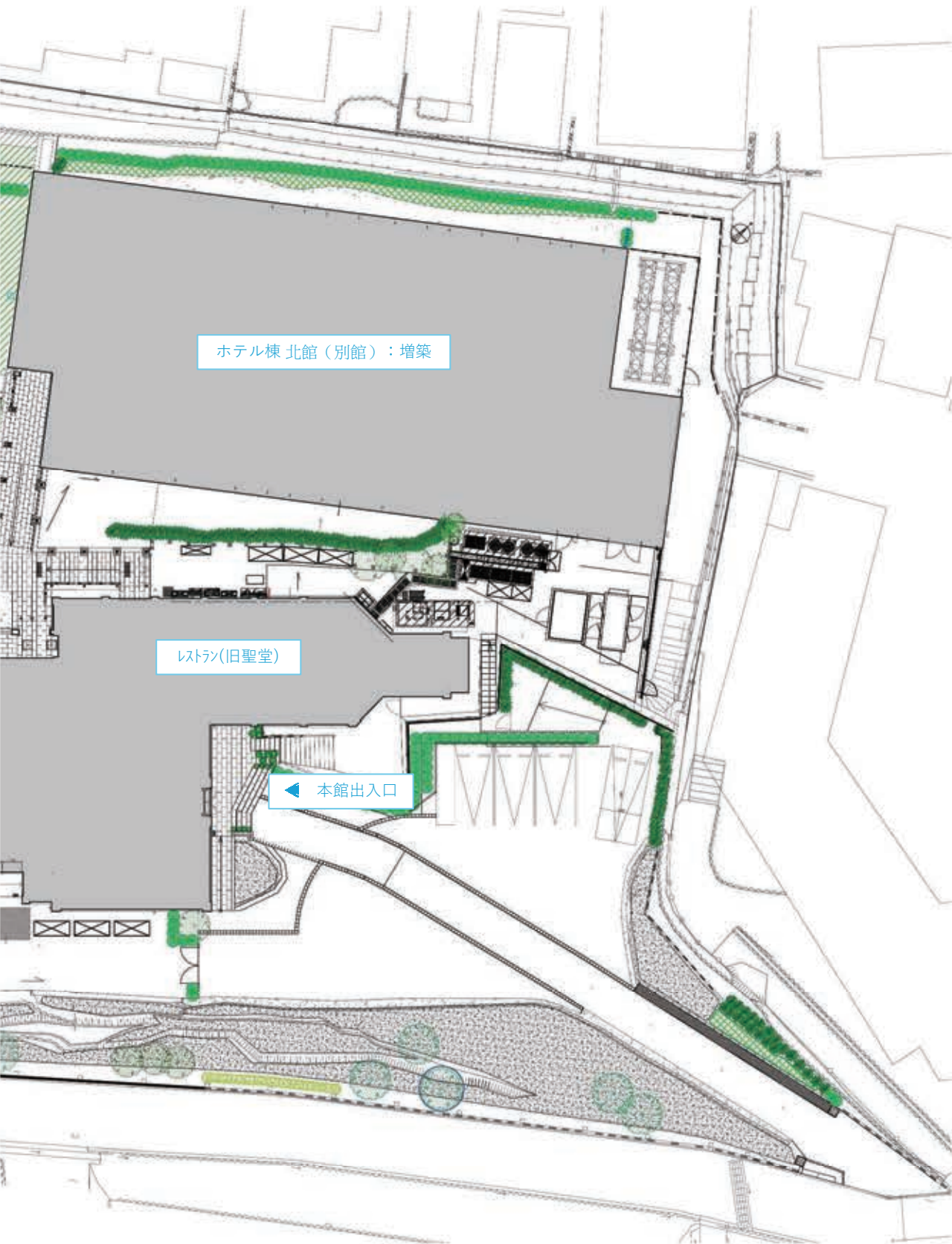


旧聖堂内観

◎全体計画図

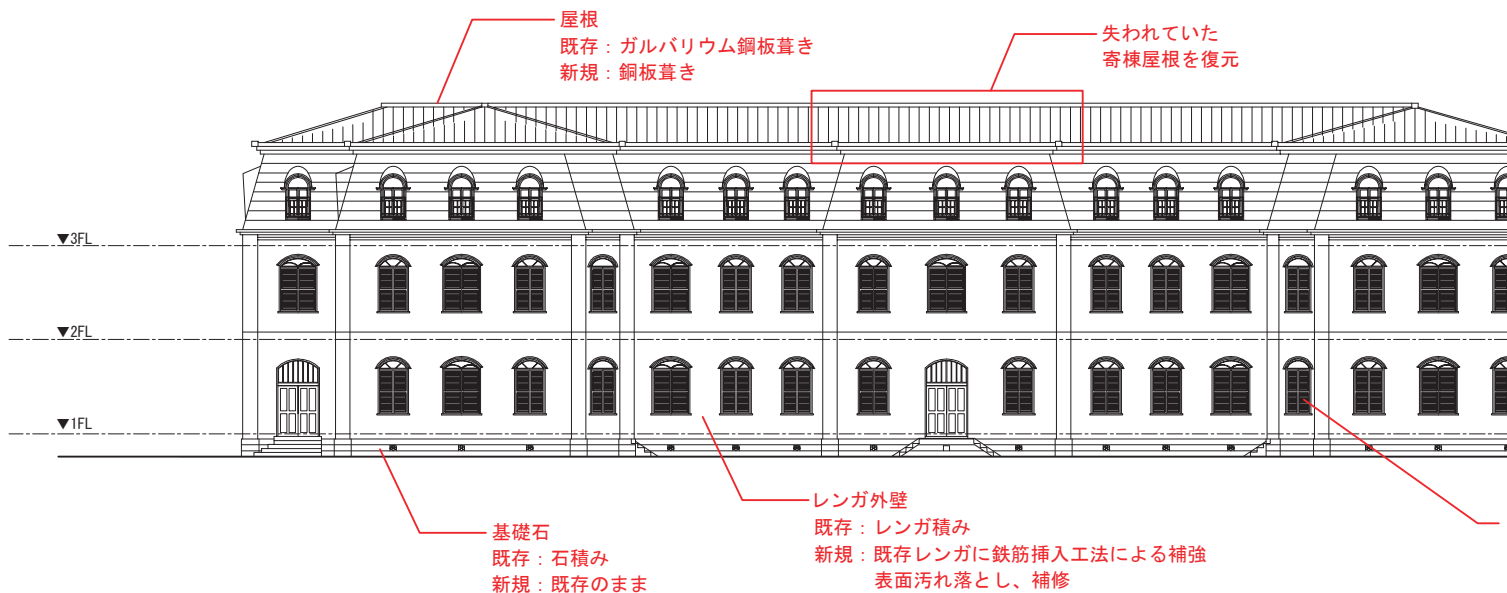


ホテル棟 本館：耐震改修、内装改修
※3条適用除外

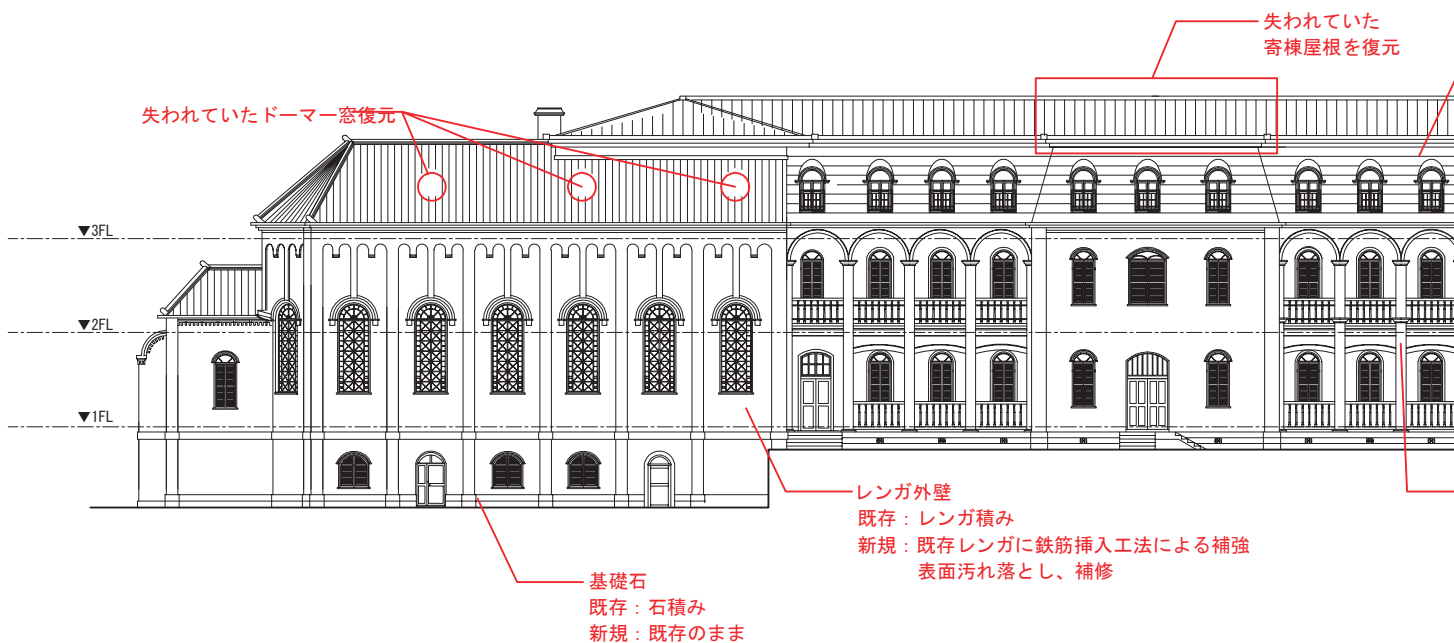


特集

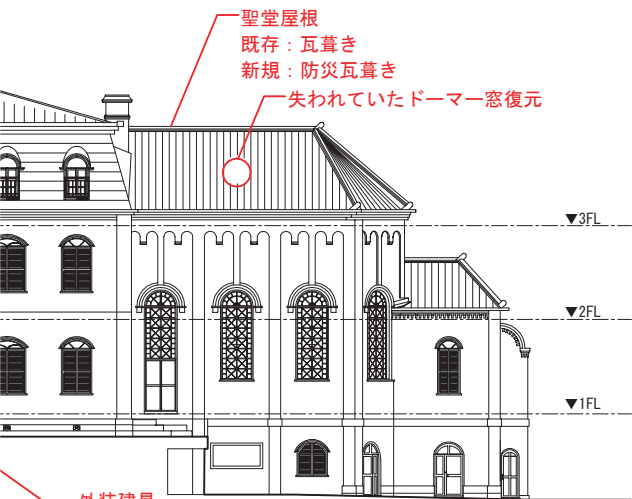
外装改修方針



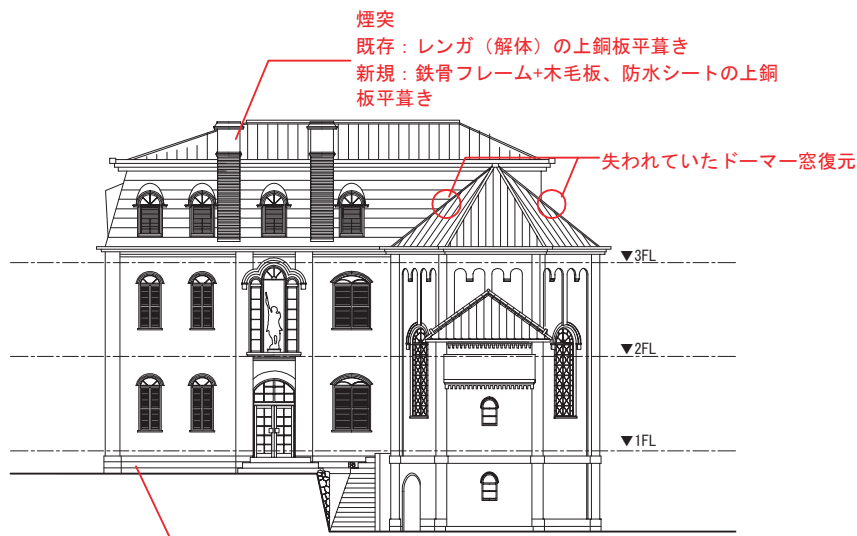
南立面図



北立面図



聖堂屋根
 既存：瓦葺き
 新規：防災瓦葺き
 失われていたドーマー窓復元



煙突
 既存：レンガ（解体）の上銅板平葺き
 新規：鉄骨フレーム+木毛板、防水シートの上銅板平葺き

失われていたドーマー窓復元

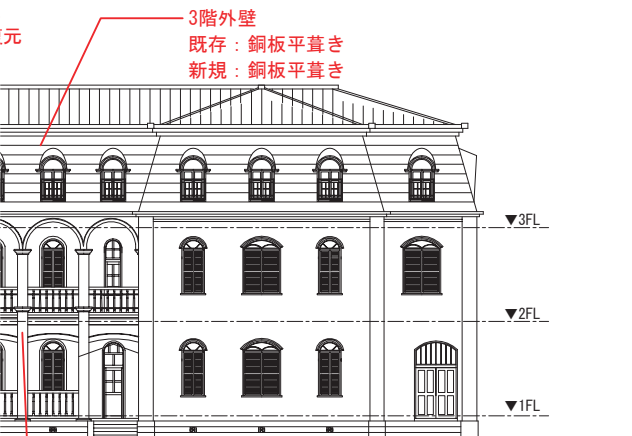
外装建具
 既存：木製
 新規：木製 一部取外し、補修の上再取り付け、移設を含む
 ※設備に必要な開口は一部アルミ製

建具枠
 既存：木製
 新規：木製

※既存はペンキによる塗装、新規部材の木製箇所は木材保護塗料

基礎石
 既存：石積み
 新規：既存のまま

東立面図



3階外壁
 既存：銅板平葺き
 新規：銅板平葺き

バルコニー
 既存：木製 面材（雨かかり）部分板金の上塗装
 新規：既存同様 構造体は鉄骨フレームに置き換え



基礎石
 既存：石積み
 新規：既存のまま

西立面図



改修前写真（1972年ごろの様子）

※改修時に参考にした写真



改修後写真

(C) google

- ・ 本館屋根は銅板葺で復元
- ・ 聖堂部は瓦葺で復元
- ・ 屋根中央部に寄棟屋根を復元
- ・ 聖堂屋根にドーム窓復元



改修前写真

- ・本館屋根はガルバリウム鋼板葺
- ・聖堂部は瓦葺、ドーマ窓なし
- ・外回り建具はアルミ製



改修後写真

- ・本館屋根は銅板葺で復元
- ・聖堂部は瓦葺で復元
- ・聖堂屋根にドーマ窓復元
- ・外回り建具は木製建具に改修

特集



ドーマ窓の復元

聖堂上のドーマ窓は意匠を復元し、設備開口として活用。



改修前外壁

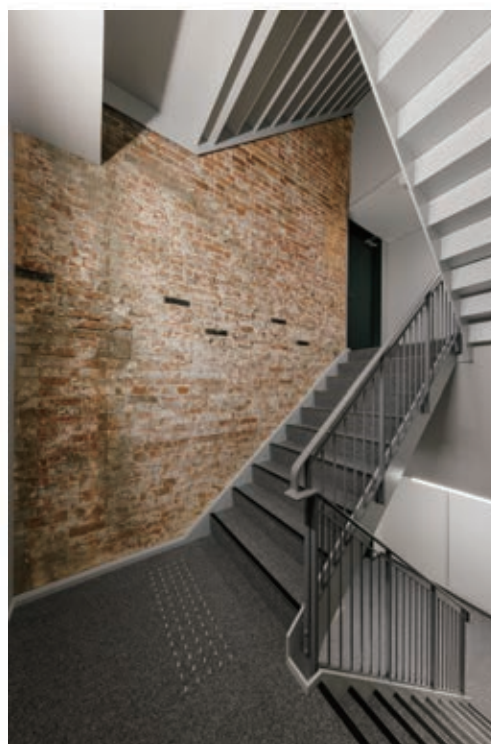
1、2階はイギリス積みのレンガ造

改修工事

- ・鉄筋挿入工法により、外壁を保存しながら耐震補強
- ・部分的に洗浄、補修

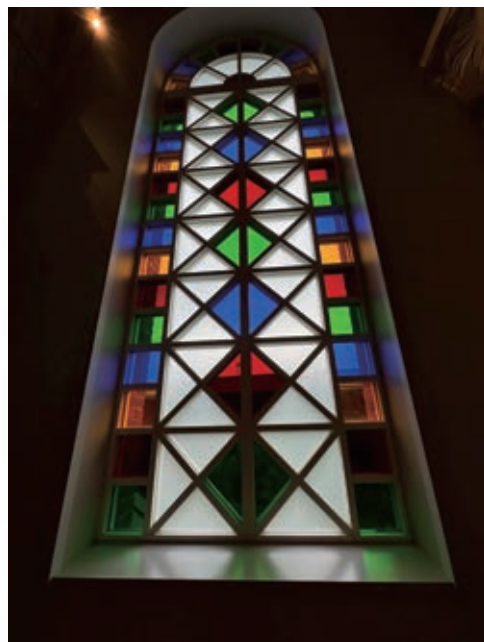


エポキシ樹脂注入

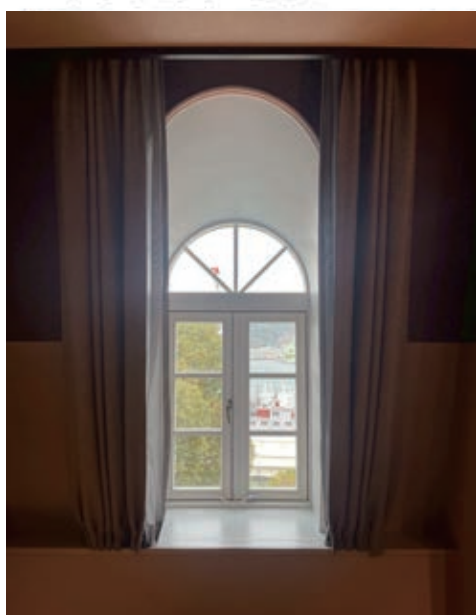


レンガ壁を内装利用

ステンドグラスの復元



木製建具の復元



木製建具のデザインはそのまま、ホテルとして必要な耐風圧、水密、断熱性能等を持たせた建具に改修



仕様	製品	耐風圧性	気密性	水密性
※	内開窓	S5 (2400Pa)	A-4 (2等級)	W-4 (350Pa)
※	ケースメント窓	S5 (2400Pa)	A-4 (2等級)	W-4 (350Pa)
※	フィックス窓	S5 (2400Pa)	A-4 (2等級)	W-4 (350Pa)
※	外開きドア	S5 (2400Pa)	A-4 (2等級)	W-4 (350Pa)

特集

■内装改修について

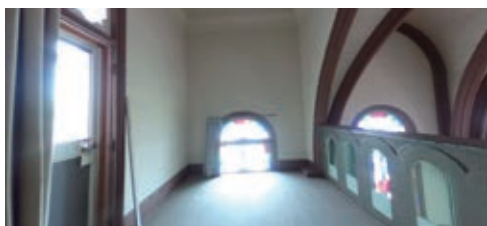
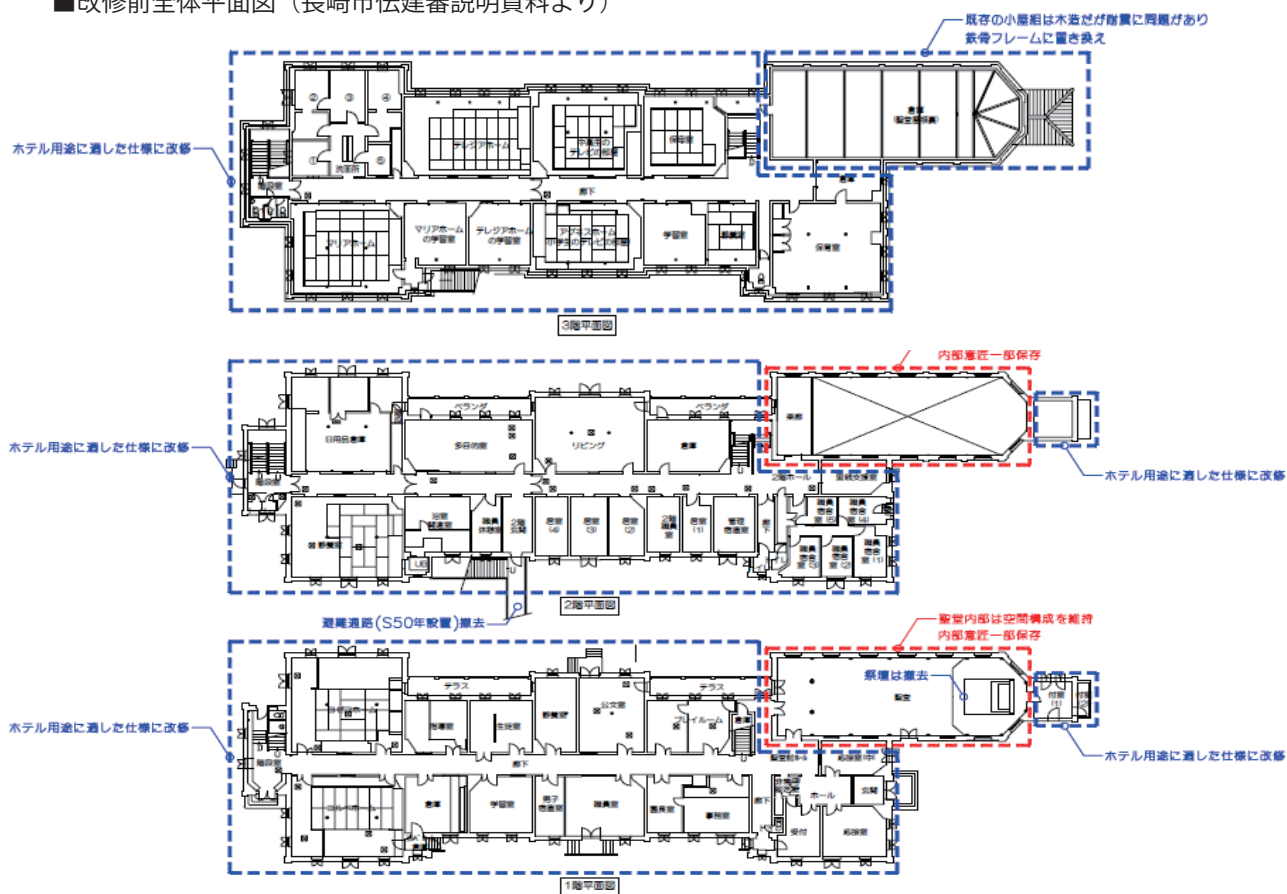
■全体

長崎は鎖国時代、唯一海外貿易が許された港街として知られており、当時新たな外国人を迎え入れる居留地として南山手・東山手エリアが開放された。

その後ビジネスチャンスを求めて渡航してきた海外の商人達の住宅地として根付き、彼らを取り寄せた諸国の舶来品や工業製品などのプロダクトは、和(日本)・華(中国)・蘭(オランダ)の文化が交じり合い、次第に独自の発展を遂げ、長崎に留まらず日本各地の文明開化に多大なる影響を与えた。

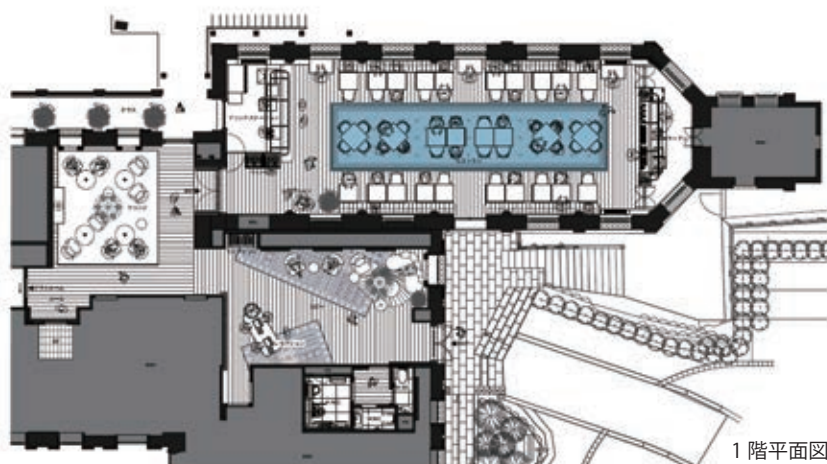
“ホテルインディゴ長崎グラバーストリート”は南山手の一等地に位置する歴史的建造物をコンバージョンする形で計画される事から、当時長崎を拠点に生き抜いた商人達を主人公に据え、異国情緒漂う落ち着いた世界観を尊重しつつも、ホテルインディゴのブランドらしく華やかでクリエイティビティの高い環境作りを行ない、地域の歴史や文化を新しい形で繋いでいくことを目指した。

■改修前全体平面図(長崎市伝建審説明資料より)

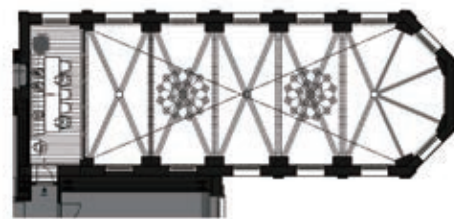


改修前聖堂写真

■改修後平面図（ロビーラウンジ・レストラン）



1階平面図



2階平面図

■ロビーラウンジ（旧玄関・ホール等）

レンガ造りの外観が印象的な本館・ロビーラウンジでは、その昔ビジネスチャンス求めて渡航してきた異国の商人達が互いの親交を深めた“社交場”のシーンをイメージし、長崎更紗を模したモザイクタイル床のデザインを始め、LEDにて煌めくガラスブロックが象嵌されたレンガ壁、当時の調度品を思わせるアートディスプレイなど、それぞれの個性的なデザインエレメントが互いに相俟って、この街ならではのエキゾチックな世界観がゲストを出迎える。



(写真左)

・出島の扇形をモチーフとしたラグ

・長崎更紗と関連する柄・モチーフをモザイクタイルの柄やパターンに応用

(写真上)

・長崎の擬洋風建築で用いられる西洋の要素を取り入れたスクリーン

■レストラン（旧聖堂）

メインダイニング” RESTAURANT CATHEDRÉCLAT”では、10mのリブ・ヴォールト天井とステンドグラスが印象的な、かつて聖堂として長い文化を持つ歴史的建築物を継承しつつ、それらとは対照的に色彩豊かな FF&E や大理石のカウンターなど、コンテンポラリーなデザインで対比させる事で、常に伝統と革新を生み出してきた長崎ならではのコントラストの効いた食空間を創出した。



特集

■聖堂内装保存箇所について

内外装材料のうち、文化財保護のため以下の材料において既存利用を行いました。

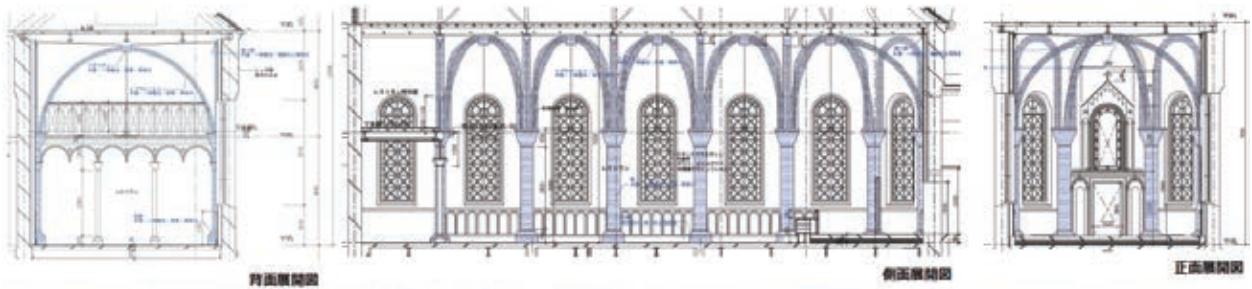
- 1. 聖堂意匠材料の一部
- 2. 外部木製バルコニー意匠材料の一部
- 3. 内外装 建具の一部

- 1. 聖堂意匠材料の一部

柱脚-柱-柱頭鉄筋-リブホルト-天井メダリオン



取り外し-再取り付けを行った部位



取り外し状況



取り外し・ナンバリング状況



再取り付け状況



再取り付け後



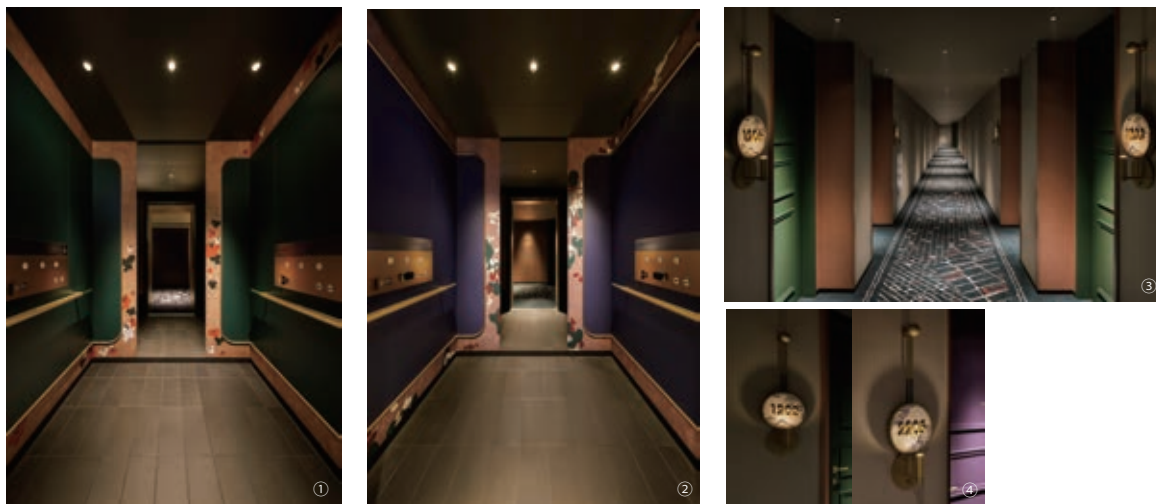
(写真左)
聖堂のメダリオンでも用いられていた
「椿」をモチーフとしたモザイクタイルのパターン



聖堂のメダリオン

■共用部

共用部では、居留地の坂道が交差する石畳からインスピレーションを受けた床のグラフィックや“長崎眼鏡”をモチーフにしたサイネージなど、居留地で見られるノスタルジックな風景を切り取ってデザインに取り入れる事で、まるで長崎の街を散歩（＝さるく）しているかの様な、好奇心を掻き立てる設えを行なった。



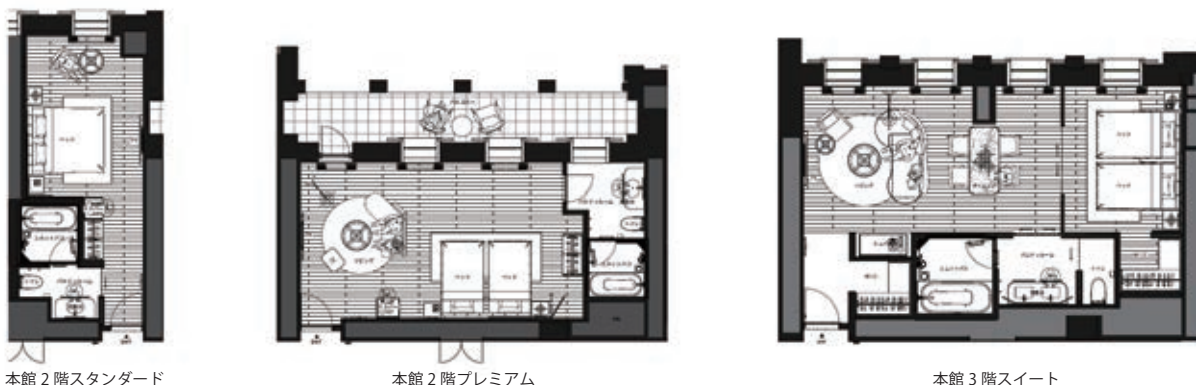
- ①長崎を舞台とした作品、蝶々夫人のバタフライをモチーフとしたELV内装
- ②シーボルトが発見したとされる紫陽花「シチダンカ」をモチーフとしたELV内装
- ③長崎の石畳をモチーフとしたカーペットデザイン。廊下を歩きながら、長崎の街を“さるく”体験をできることを意図した
- ④長崎刺繍をモチーフとしたルームナンバーサイン（本物の長崎刺繍を用いているわけではありません。）

■客室

ゲストルームは、アーチ窓を通して南山手の街並みを望むレンガ造りの本館と、大きな窓から港を見渡せる新築の北館に分かれている。

空間デザインにおいては、当時商人達によって居留地に持ち込まれた舶来品・コレクションから着想を得て構築を行なっている。街並みが描かれた長崎版画を思わせる屏風スクリーンを始め、プリントウェアの技法を取り入れた照明器具、出島のキャプテン部屋などで見られる特徴的な唐紙文様が施された家具など、諸国から持ち込まれた各プロダクトをモチーフに、ユニークかつ色彩豊かに取り入れる事で、異国情緒の面影を残しつつも新たな価値観を生み出すことを目指した。

クローゼットやミニバー、金庫などの各機能は一体化させており、異国より届いた調度品の箱がスタックされている画をイメージしている。



本館 2階スタンダード

本館 2階プレミアム

本館 3階スイート

特 集

■客室内部写真

①唐紙をモチーフとしたベッドサイドテーブルの柄

②交易にて日本国外より運ばれてきた物品を入れていた箱が積みあがっているのを想起させるように凹凸をつけている箱状のクローゼット・ミニバーや聖堂のメダリオンでも用いられていた「箱」をモチーフとした取手

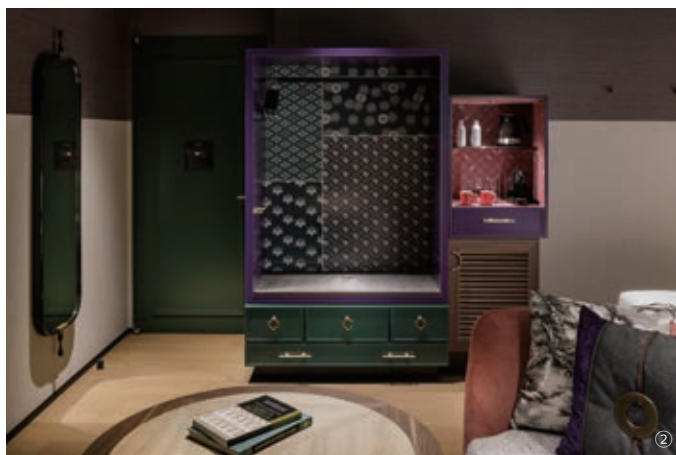
③「箱」をモチーフとしたモザイクタイルの柄



本館2階プレミアム内部写真



①



②



③

静謐な象徴の（旧マリア園）とオランダ船
～この地の歴史とロマンの物語 異国の風と祈りの海、南洋の鳥たちの訪問～



別館の屏風グラフィックは、長崎の静謐（せいひつ）な象徴のこのホテル（旧マリア園）と、異国から訪れたオランダ船が浮かぶ長崎港で、異国情緒と神聖さが交差する情緒を表現いたしました。

異世界をつなぐ架け橋となったオランダ船は南洋からの風と共に新しい文化を長崎にもたらしました。

かつて江戸の鎖国時代に、日本で唯一、オランダや中国との貿易が許された、長崎の出島は文化だけでなく、異国からの植物や生き物運も伝来したと記録されていてこの中には南洋の鳥も含まれており、歴史的にも多くの異国の鳥が、長崎の地に足跡を残しています。

南洋の鳥たちが彩りを添え、ソテツの緑が風に揺れる、エキゾチックな世界観を描き異文化の出会いや時の流れ、この地の歴史とロマンの物語を表現いたします。



OKYstudio

このホテル（旧マリア園）から望む山あいの風景
～日本の夜明けを導いた外国人居住地、時を超える情緒～



本館の屏風グラフィックは、このホテル（旧マリア園）から望む山あいの風景のこの地ならではの異国情緒漂う、時を超える情緒を演出いたします。

この地にとても特別な意味を持つ、象徴的な風景として、かつてグラバー邸に立っていた、長い歴史を象徴する一本松を過去と現在を繋ぐ情感豊かなモチーフとして描きました。

外国人居住地は、日本の夜明けを象徴する場所として・・・この場所に多く見られる柿の木遣は、歴史の証人として・・・長崎の風景に欠かせられない渡鳥遣は、変化と旅の象徴として・・・

長崎の歴史をそっと語りかけ、時を超え今も昔も変わらない魅力を、表現いたしました。



OKYstudio

Hotel Nagaoka Nagasaki Grand Street - 101 NAGA

シーボルトが、世界の伝えた日本の産「Camellia japonica(照焼ヤブツバキ)」をモチーフに、長崎貿易の歴史の背景に、深く関連する有数の産物のブランドウエアのデザインに。

【アトリ・ヤブツバキ】は、シーボルトが世界に伝えた日本の産物で、美しい中絶産物でもあります。特に、Camellia japonica(照焼ヤブツバキ)は、300年ほど前から、ヨーロッパで「照焼」が愛用されてきました。

明治時代、1859年に初めてオランダがオランダ領に、貿易品を輸入したと記録されている。この一冊が、日本の歴史に、長崎の歴史を通じて、この地の、産物の歴史がヨーロッパに広まるようになったと記録されています。



モチーフ Camellia japonica(照焼ヤブツバキ)



Umbrella



旧マリア園の風景

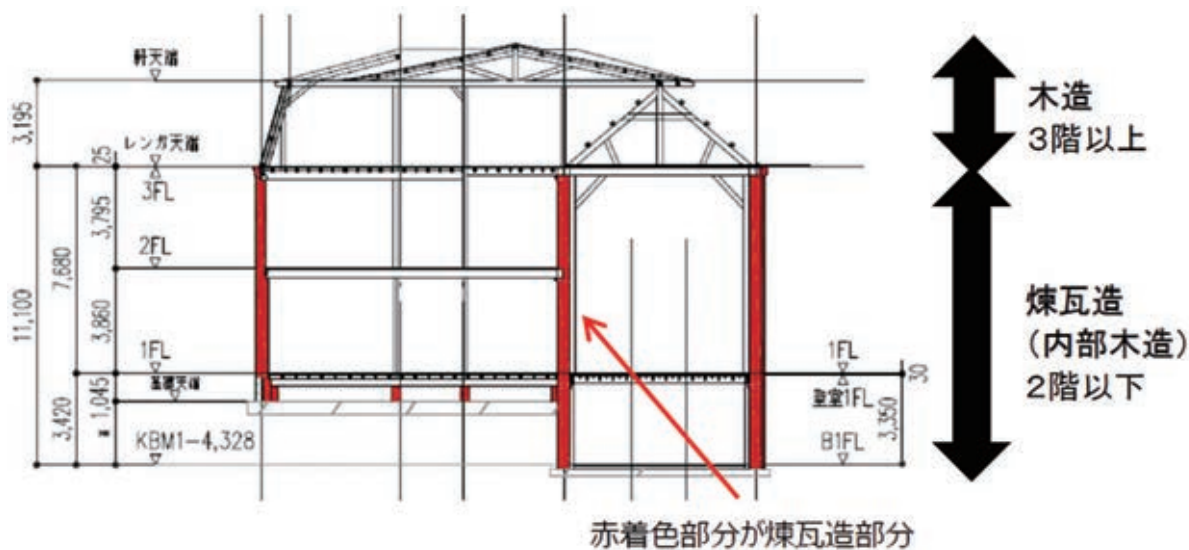
コンセプト文章：(DESIGN STUDIO CROW / 藤本 泰士)

特 集

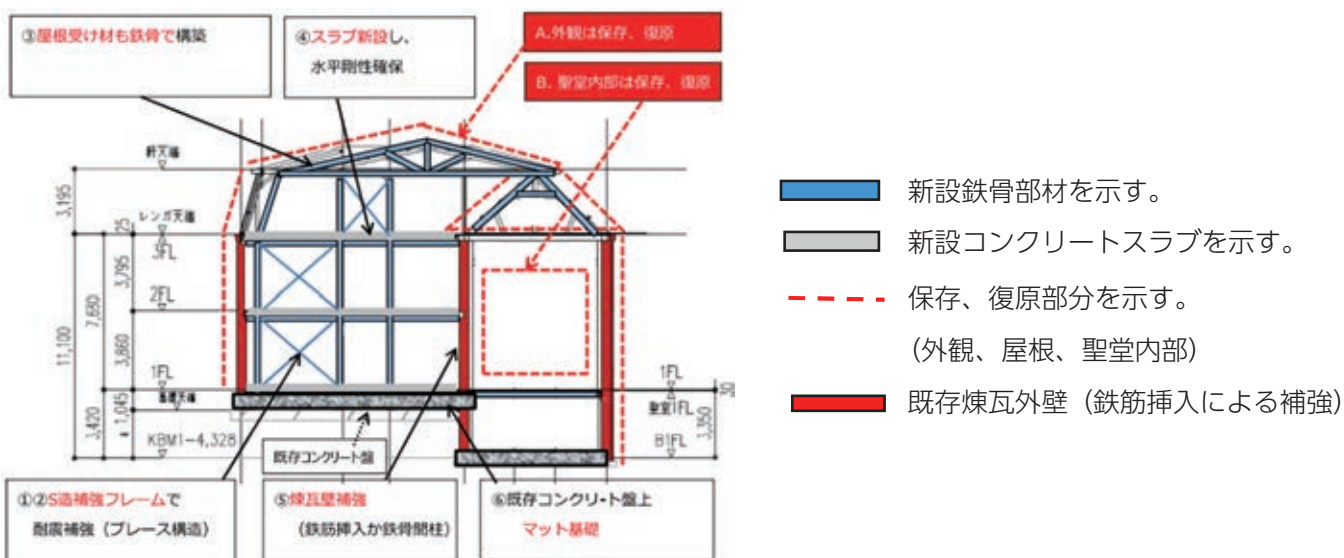
◆耐震補強

1) 改修前建物の構造特性

改修前の建物は木造+煉瓦造のハイブリット構造となっており、煉瓦造部分の主要な耐震要素は外周煉瓦壁、3階木造部分は木ずり壁でありいずれも壁量が少なく耐震性が著しく不足している事が判明した。



耐震補強方法は現況の構造形式での補強も検討されていたが、最終的に、「伝統建築物としての外観を維持しつつ、現行法規並みの耐震性を有した宿泊施設としての必要空間を確保するためには、木造系の補強は困難であり、「鉄骨造」内部補強フレームが必要」と判断された。





鉄骨建て込みの様子



煉瓦壁内への鉄筋挿入工事の様子

特集

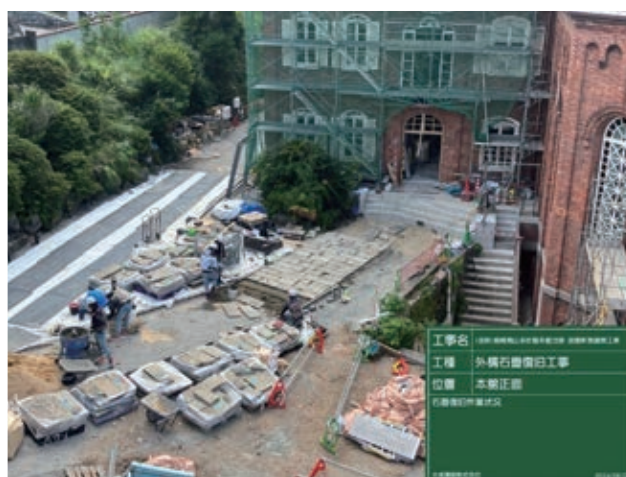
◆その他外構

石畳アプローチの保存

道路から建物玄関までのアプローチ部分の石畳は、工事中は厳密に保管管理され、改修後も当初の状態に復元されている。



解体時の番付状況



復旧時の様子

既存石材の流用

ホテル玄関前のサインはグラバー園敷地内で使わなくなっていた石材（諫早石）を利用したオリジナルのものである。



■施設概要・計画趣旨

長崎・南山手に位置するホテルインディゴ長崎グラバーストリートは、鎖国期に海外文化が交差した居留地の歴史を背景に、旧 MARIA 園をはじめとする歴史的建造物をコンバージョンした計画である。赤レンガ造や礼拝堂のリブ・ヴォールト天井、ステンドグラスといった建築的価値を継承しつつ、和・華・蘭の文化が重なり合う地域の記憶を現代的なデザインへと再編集し、街の物語を体験として提示する宿泊施設として再生された。



■計画コンセプト・建築的特徴

計画は、居留地として発展してきた南山手の歴史的文脈を読み解き、既存建築の保存と新たな機能付加の両立を図るコンバージョンとして進められた。赤レンガ造の構成や礼拝堂空間のスケール感、リブ・ヴォールト天井とステンドグラスがもたらす光環境を継承しながら、ブランドの世界観を重ねることで、歴史性と現代性が共存する空間を形成している。



特 集

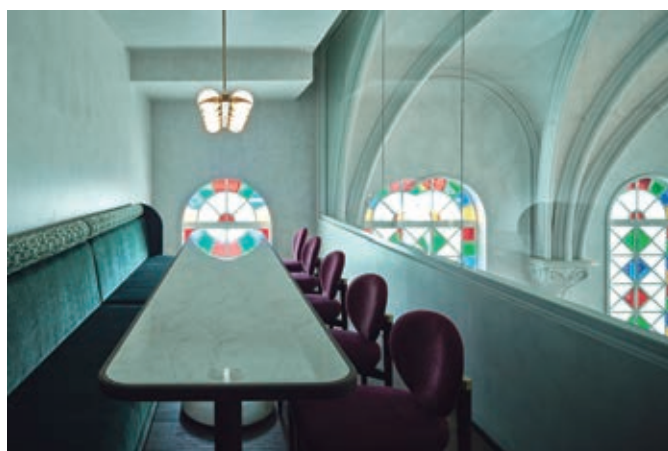
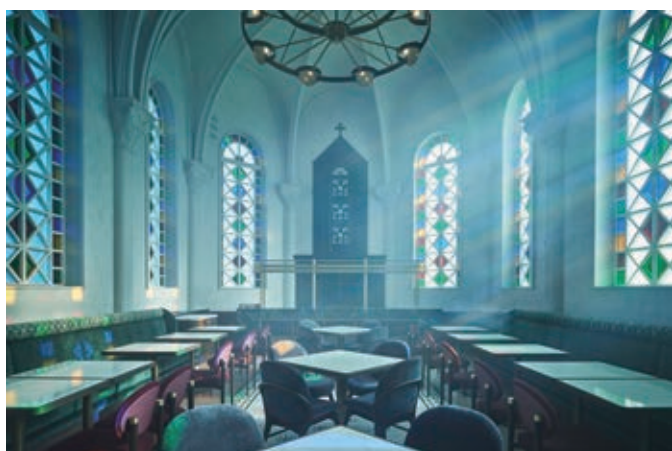
ロビー・ラウンジ

エントランスでは、出島の扇形を現代的に解釈したラグや、南山手の擬洋風建築の要素を取り入れた設えにより、長崎らしい異国情緒を空間体験として表現している。観光から戻ったゲストを迎える導入空間として、地域の歴史的モチーフを抽象化したデザインが用いられている。



レストラン

礼拝堂を活用したレストランは、ステンドグラスが生み出す光の演出と歴史的スケールを生かした象徴的空間である。居留地の文化的要素とホテルインディゴのデザインを掛け合わせることで、既存建築の魅力を体験価値へと転換している。



レストラン個室

食体験

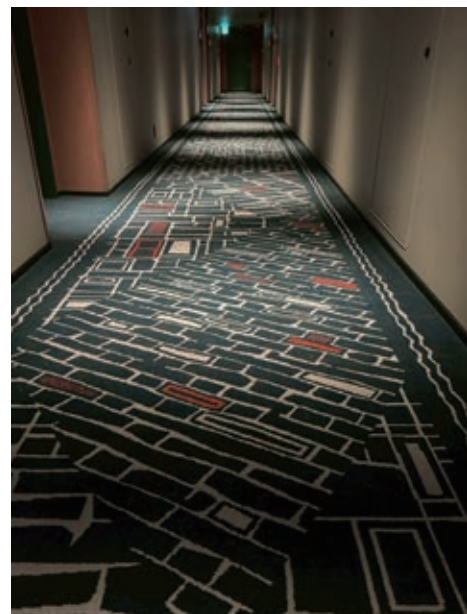
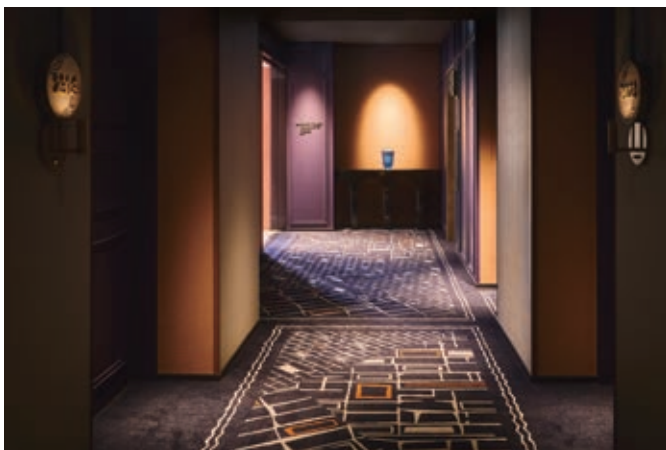
料理は、地域の文化や歴史を背景としたストーリー性を重視し、聖堂空間でのコース料理や朝食を通して滞在体験を構成する要素として位置付けられている。空間と食の一体的な演出により、施設全体のコンセプトを補完している。



客室計画

客室は、かつて長崎を拠点に活動した商人たちの文化や持ち込まれたコレクションから着想を得て、異国情緒を感じるモダンな空間として計画された。全10タイプの客室を用意し、本館のカピタンガーデンテラススイートでは独立したベッドルームとプライベートガーデンを備える。

海側客室では既存建築の天井形状やアーチ窓を継承し、長崎湾の眺望や汽笛の音とともに歴史的環境を体験できる構成としている。

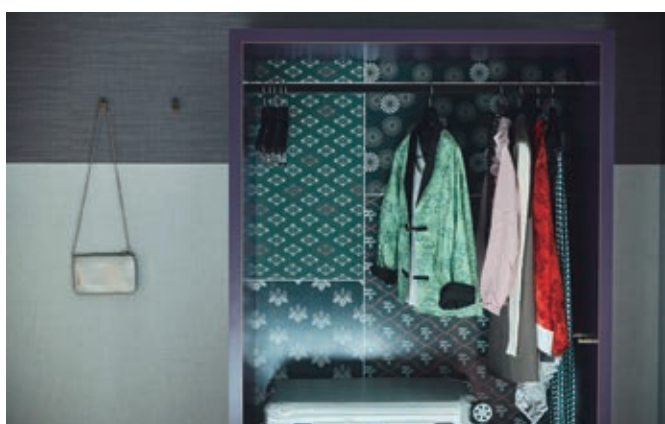


長崎の石畳をモチーフとした
デザインのカーペット

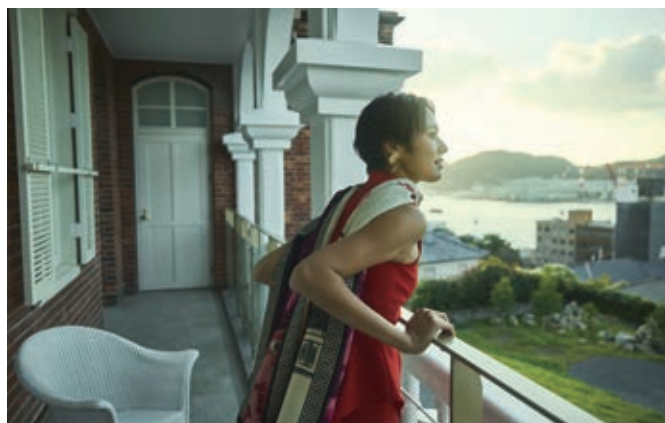
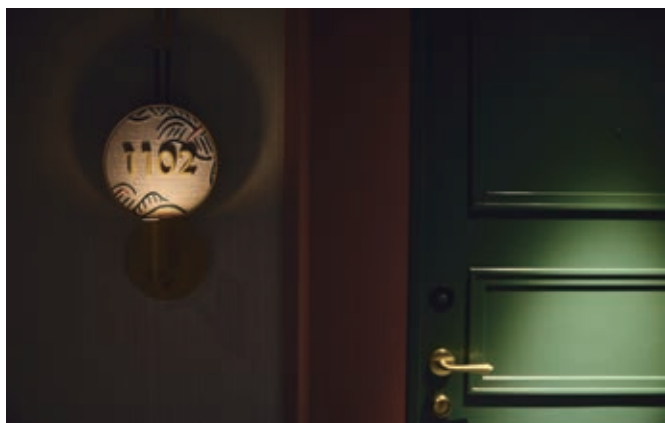
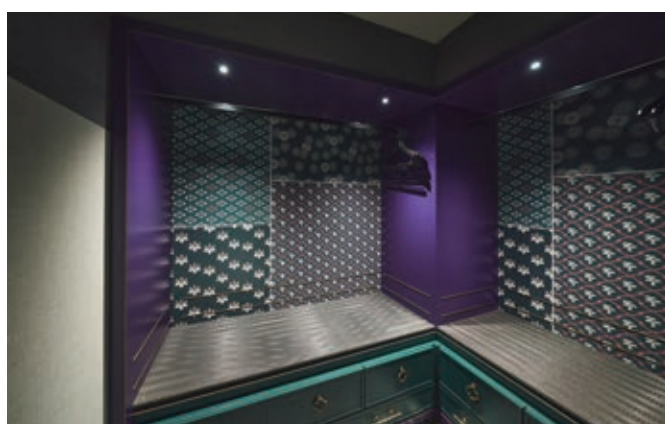
特 集



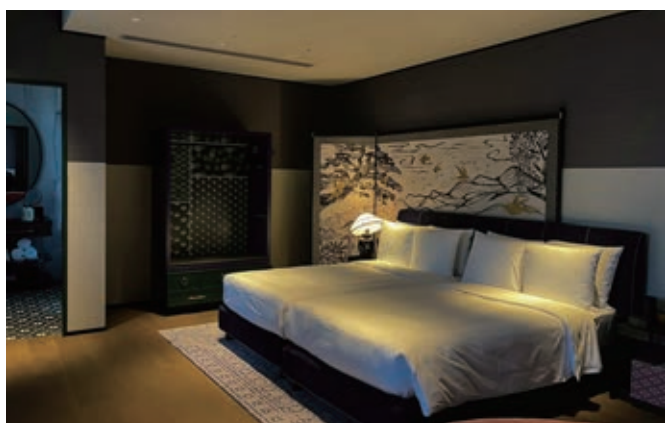
長崎版画を思わせる屏風スクリーン



出島のカピタン部屋などで見られる特徴的な唐紙文様が施された家具

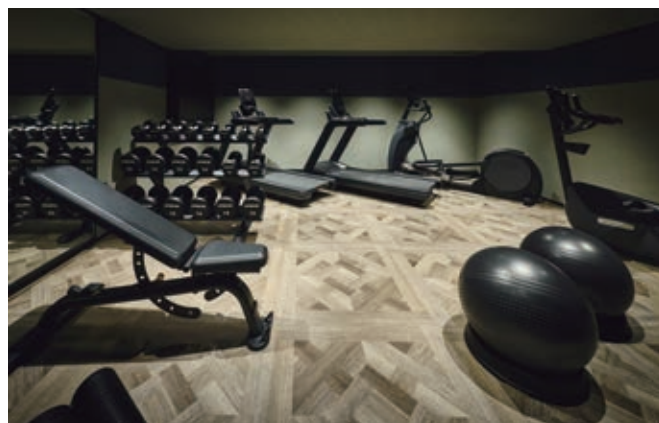
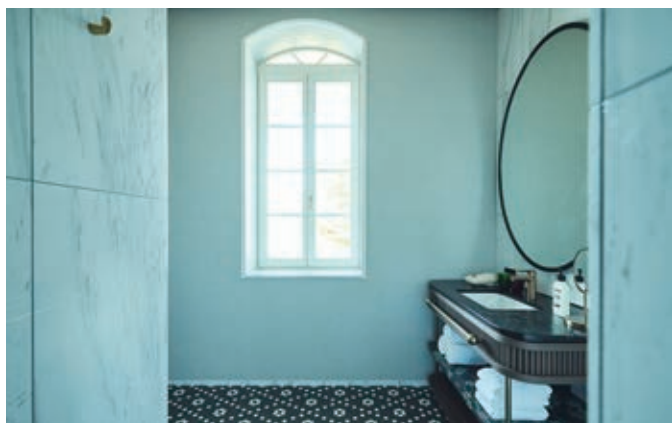
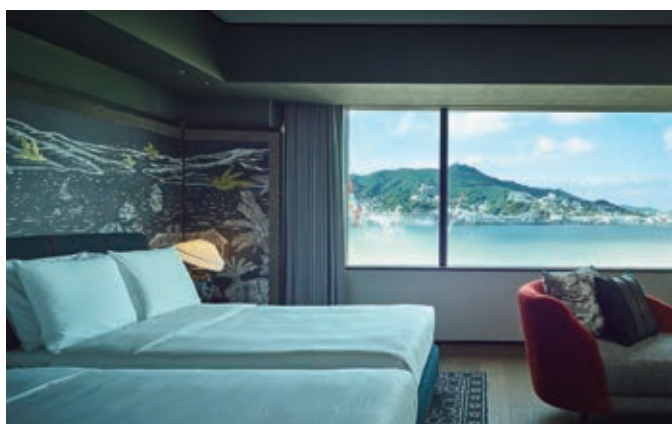


海側の客室からは長崎港を一望できる





客室は間取りが違う10タイプ



会のうごき

令和7年度 第59回通常総会

日 時	令和7年5月30日（金） 総会
会 場	JAさせぼホール
会 員 数	在籍数 225名 出席会員数121名 【出席者44名 有効委任状77通】
議 案	報告 令和7年度事業計画について 令和7年度収支予算について
	第1号議案 令和6年度事業報告・会務報告
	第2号議案 令和6年度賞味財産増減計算書承認の件 監査報告
	第3号議案 その他





会のうごき

令和7年度 建築士定期講習会

【第二期】

日 時 令和7年8月6日（水）
 会 場 長崎県建設総合会館 8階（長崎市魚の町3-33）
 受 講 者 51名

【第四期】

日 時 令和8年2月18日（水）
 会 場 長崎県建設総合会館 8階（長崎市魚の町3-33）
 受 講 者 22名

平成20年11月28日に施行された改正建築法の規定により、建築士事務所に所属する一級建築士、二級建築士又は木造建築士は、3年毎に国土交通大臣の登録を受けた登録講習機関が行う、一級建築士定期講習、二級建築士定期講習又は木造建築士定期講習（以下「建築士定期講習」という。）を受講することが義務付けられています。

令和7年度 開設者・管理建築士のための建築士事務所の管理研修会

日 時 令和7年10月22日（水） 9:30～17:00
 会 場 長崎県勤労福祉会館 2階講堂（長崎市桜町9-6）
 受 講 者 87名

建築士事務所の業務に責任を持ち契約締結者となる開設者と、建築士事務所を管理し技術的事項を総括する管理建築士は、建築士事務所の運営はもとより業務委託者に対する責任を負っており、社会変化に応じた最新の法制度や技術等に精通し、その資質を維持・向上していくことが求められています。

本研修会は、建築士事務所の管理・運営を適切に進める上で把握しておくべき重要事項を網羅した内容となっており、5年ごとの事務所登録の更新の機会に合わせて受講することで資質の維持・向上を図り、業務委託者の期待に応えるべく業務の適正化や建築物の質の向上を目指すことを目的としています。

管理建築士については所属建築士として「建築士定期講習」の受講が義務付けられていますが、本研修会では管理建築士として要求される建築士事務所の管理に関する事項、および社会情勢の変化に伴って求められる最新知識を学習していただくこととなります。また建築士でない開設者にとっては法定講習の受講義務がないため、建築士事務所の管理・運営について学ぶ唯一の機会となります。



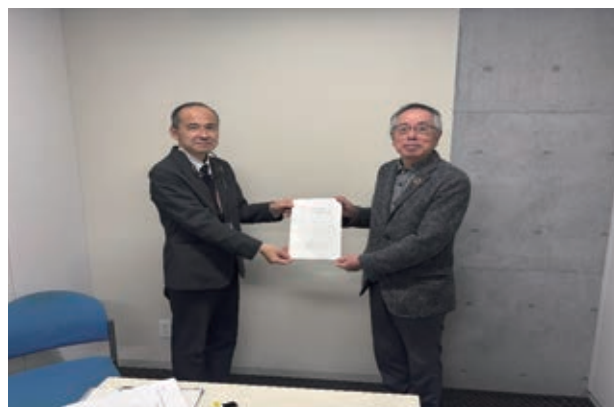
建築物省エネ法講習(小規模非住宅建築物設計者用)

日 時 令和7年9月30日(火) 13:00 ~ 17:30
 会 場 長崎県建設総合会館 8階会議室
 参加者 21名



令和7年度 県との協議会

日 時 令和8年1月14日(水) 16:00 ~ 17:30
 会 場 長崎県庁
 参加者 行政 19名 正会員 16名



会のうごき

「ながさ木の建築促進セミナー」

日時 令和8年1月20日（火）13:30～17:30

会場 長崎県建設総合会館 8階大会議室

参加者
内容

第一部

①講演:「ながさ木の建築で地域の森をモリアゲる」

講師 長野 麻子氏（株式会社モリアゲ 代表）

②講演:「地域材でつくる建築手法」

講師 佐々木信明氏（株式会社INTERMEDIA 代表取締役）

第二部

パネラー 長野 麻子氏（株式会社モリアゲ 代表）

佐々木信明氏（株式会社INTERMEDIA 代表取締役）

松尾正次郎氏（社会福祉法人 正道会 福岡ピノキオこども園園長）

コーディネーター

秋山 篤史氏（株式会社秋山インダストリー代表取締役）

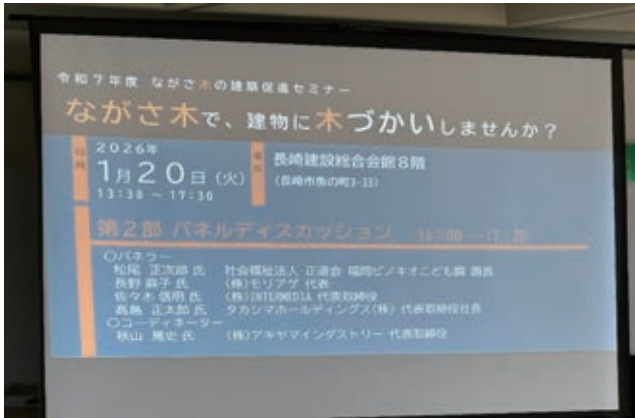


①講演:「ながさ木の建築で地域の森をモリアゲる」 講師 長野 麻子氏



②講演:「地域材でつくる建築手法」 講師 佐々木信明氏





会のうごき

正会員と賛助会とのボウリング大会と納涼懇親会

日時 令和7年8月27日 (水) 16:00 ~ 20:00
会場 ボウリング大会 長崎ラッキーボウル
参加者 正会員 16名 賛助会員 32名



正会員と賛助会との新春交流会

日時 令和8年1月28日（水） 17:30～19:30

会場 ホテルセントヒル長崎

参加者 正会員 36名 賛助会員 68名



会のうごき

【理事会】

【第1回】 持ち回り

日 時 令和7年5月30日（金）14:30～15:30
場 所 JAさせばホール

【第2回】

日 時 令和7年6月20日（金）16:00～17:30
場 所 長崎県建設総合会館 5階 第3会議室

【第3回】

日 時 令和7年8月27日（水）15:30～16:30
場 所 長崎ラッキーボウル 5階 パーティールーム

【第4回】

日 時 令和7年10月27日（月）14:45～16:15
場 所 長崎県建設総合会館 5階 第1会議室

【第5回】 持ち回り

日 時 令和7年11月26日（水）

【第6回】

日 時 令和8年1月28日（水）16:00～17:30
場 所 ホテルセントヒル長崎

【第7回】

日 時 令和8年3月23日（月）15:00～16:30
場 所 建設総合会館 5階 第1会議室

【総務・財務委員会】

【第1回】

日 時 令和7年6月20日（金）15:00～16:00
場 所 長崎県建設総合会館 5階 第3会議室

【第2回】

日 時 令和7年8月27日（水）14:30～15:30
場 所 長崎ラッキーボウル 5階 パーティールーム

【第3回】

日 時 令和7年10月27日（月）13:30～14:30
場 所 長崎県建設総合会館 5階 第1会議室

【第4回】

日 時 令和8年1月28日（水）15:00～16:00
場 所 ホテルセントヒル長崎

【第5回】

日 時 令和8年3月23日（月）13:30～15:00
場 所 建設総合会館 5階 第1会議室

【経営委員会】

【第1回】

日 時 令和7年4月22日（火）13:30～14:30
場 所 事務局及びリモート

【第2回】

日 時 令和7年6月25日（水）11:00～12:00
場 所 事務局及びリモート

【第3回】

日 時 令和7年7月29日（火）11:00～12:00
場 所 事務局及びリモート

【技術委員会】

【第1回】

日 時 令和7年6月20日（金）16:00～17:30
場 所 事務局

【第2回】

日 時 令和8年2月25日（水）16:00～17:30
場 所 事務局

【教育・情報委員会】

【第11回ながさき建築賞選考会】

日 時 令和7年4月28日（月）10:00～11:30
場 所 事務局

【第1回】

日 時 令和7年4月28日（月）10:00～11:30
場 所 事務局

【広報・渉外委員会】

【第1回】

日 時 令和7年11月6日（木）13:30～15:00
場 所 事務局
1.会報NAGASAKI 59号の企画

【現地見学会】

日 時 令和7年11月6日（木）13:30～15:00
場 所 事務局

【第2回】

日 時 令和8年1月28日（水）13:30～15:00
場 所 ホテルセントヒル長崎
1.会報NAGASAKI 59号の構成

【第3回】

日 時 令和8年2月19日（木）13:30～15:00
場 所 事務局
1.会報NAGASAKI 59号の編集

【第4回】

日 時 令和8年2月19日（木）13:30～15:00
場 所 事務局

【耐震診断判定委員会】

【第768回予備審査】

日 時 令和7年9月4日（木）

場 所 事務局

【第769回予備審査】

日 時 令和7年9月11日（木）

場 所 事務局

【第770回予備審査】

日 時 令和7年9月18日（木）

場 所 事務局

【第215回本審査】

日 時 令和7年10月17日（金）

場 所 長崎県建設総合会館 5階 第1会議室

【木造・木質化特別委員会】

【第1回】

日 時 令和7年10月16日（木） 10:30～12:00

場 所 事務局及びリモート

【第2回】

日 時 令和7年11月19日（水） 10:30～12:00

場 所 事務局及びリモート

【第3回】

日 時 令和7年12月19日（金） 10:30～12:00

場 所 事務局及びリモート

【第4回及びセミナー開催】

日 時 令和8年1月20日（火） 13:30～17:30

場 所 事務局及び長崎県建設総合会館 8階 大会議室

会員動静 令和7年4月1日～

<入会>

支部	事務所名	代表者	所在地	入会日
賛助会	ジャパンエレベーターサービス九州株式会社長崎営業所	須山 亮	長崎市興善町6-5 興善町イーストビル1階	R7.6.20
賛助会	西日本ビルテクノサービス株式会社	生田 誠	長崎市五島町6-19 松竹ビル内	R7.8.27
県央支部	株式会社大栄建設 二級建築士事務所	富永 政秋	諫早市高来町泉160-1	R7.10.27
賛助会	株式会社黒田板金工業	黒田 勝	大村市協和町722-2	R7.12.3
賛助会	株式会社三洋工業九州システム	上妻 幸也	長崎市住吉町17-1	R8.1.28
長崎支部	Order 一級建築士事務所	川端 威士	長崎市江里町7-68	R8.3.23

<退会>

- バンブー 二級建築士事務所
- 株式会社キューブ・デザイン
- イトウ設計室
- 匠一級建築事務所
- 有限会社吉永企画 二級建築士事務所
- 株式会社 U設計
- 株式会社 川原設計
- 株式会社プロデュースメディア
- 東都建設株式会社 一級建築士事務所
- 野口建築設計室
- 有限会社 江原建築設計事務所
- 山外工業株式会社 一級建築士事務所
- 川下浩一建築研究所
- 有限会社 合浦設計事務所
- 有田工業株式会社

支部だより

長崎支部

【第38回通常総会】

日 時 令和7年4月18日（金）16:45～17:30
 場 所 ホテルセントヒル長崎
 報 告 令和7年度 事業及び会務計画・
 委員会活動計画について
 令和7年度 収支予算について
 議 事 第1号議案 令和6年度事業及び会務計画
 委員会活動報告の承認の件
 第2号議案 令和6年度正味財産増減計算書
 承認の件
 第3号議案 その他

【第8回理事会】

日 時 令和7年4月8日（火）16:30～17:30
 場 所 長崎県建設総合会館 5階第1会議室

【第9回理事会】

日 時 令和7年5月13日（火）16:30～17:30
 場 所 長崎県建設総合会館 5階第1会議室

【第10回理事会】

日 時 令和7年7月9日（水）16:00～17:00
 場 所 長崎県建設総合会館 5階第1会議室

【第11回理事会】

日 時 令和7年9月9日（火）16:30～17:30
 場 所 長崎県建設総合会館 5階第1会議室

【第12回理事会】

日 時 令和7年11月11日（火）16:30～17:30
 場 所 長崎県建設総合会館 5階第1会議室

【第13回理事会】

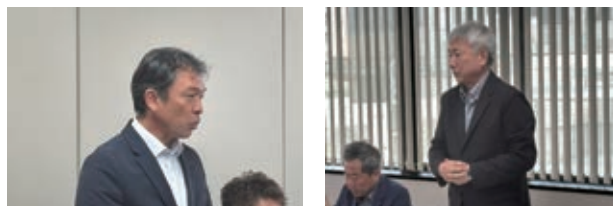
日 時 令和8年1月13日（火）16:30～17:30
 場 所 長崎県建設総合会館 5階第1会議室

【第14回理事会】

日 時 令和8年3月10日（火）16:30～17:30
 場 所 長崎県建設総合会館 5階第1会議室

【長崎県建設業協会長崎支部との意見交換会】

日 時 令和7年7月3日（木）16:00～17:30
 場 所 長崎県建設総合会館 5階第1会議室
 テーマ 1.双方支部からの要望・質問等
 2.若手育成について
 3.働き方改革について
 4.その他
 長崎県建設業協会 9名
 長崎県建築士事務所協会 10名



【納涼懇親会】

日 時 令和7年7月9日（水）18:00～
 場 所 ゆりの温泉
 参加者 13名

【9月技術講習会】

日 時 令和7年9月9日（火）17:30～18:15
 場 所 長崎県建設総合会館 5階第1会議室
 概 要 BIMの最新動向、活用方法について

【11月技術講習会】

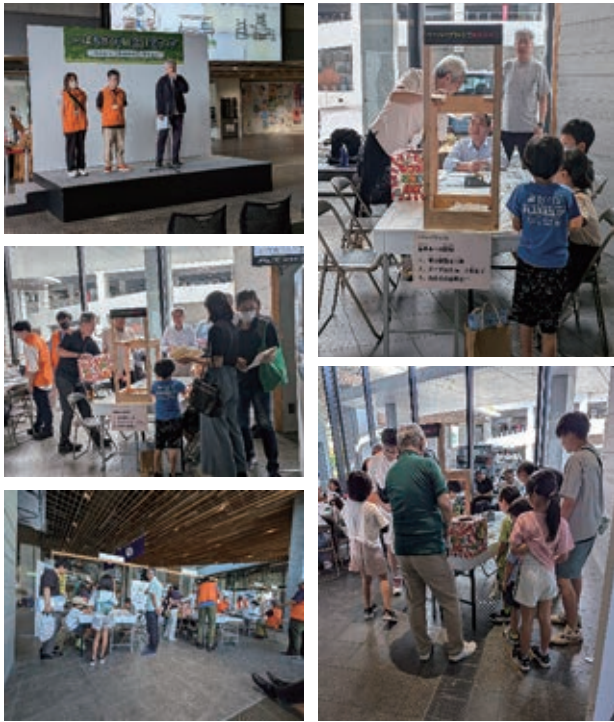
日 時 令和7年11月11日（火）17:30～18:15
 場 所 長崎県建設総合会館 5階第1会議室
 概 要 金属断熱サンドイッチパネルの断熱性能について

【1月技術講習会】

日 時 令和7年1月14日（火）17:25～18:15
 場 所 長崎県建設総合会館 5階第1会議室
 概 要 BIM確認申請の最新情報について

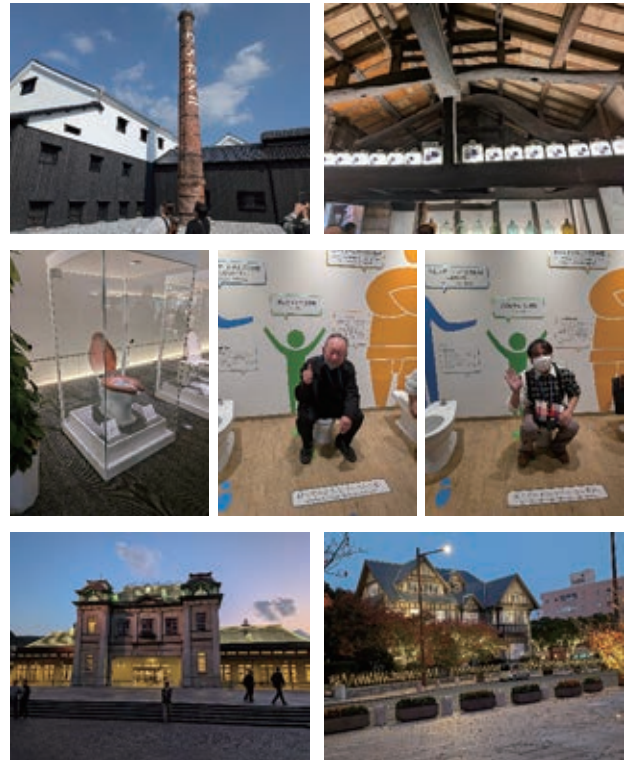
【住宅フェア】

日時 令和7年10月4日～10月5日
 場所 長崎県庁
 参加者 25名(2日間)



【特別研修事業】

日時 令和7年11月14日～11月15日
 場所 門司・小倉方面

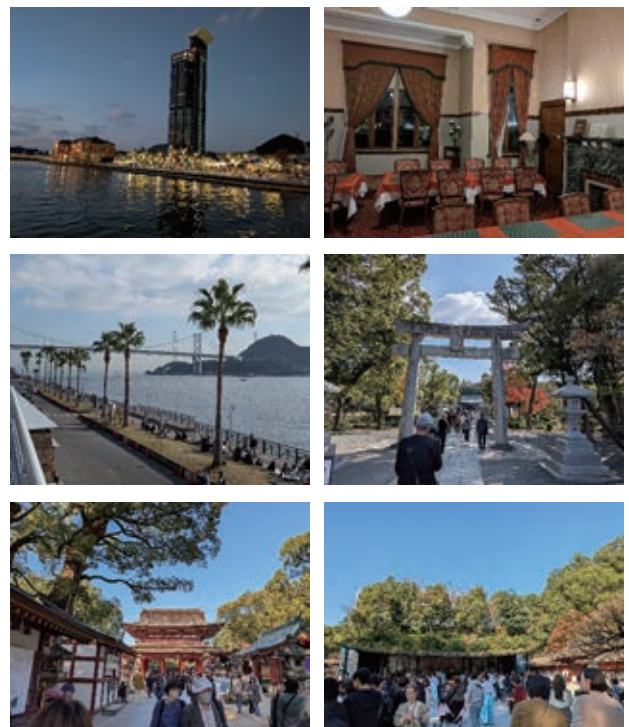


【年末研修会】

日時 令和7年12月18日(木) 15:30～17:00
 場所 長崎県建設総合会館 5階第1会議室
 参加者 行政 6名 会員 17名
 テーマ

- ①生成AIの活用について(時短と書類の合理化)
- ②改正建築基準法2025のその後について
- ③長崎市のまちづくり計画について

長崎支部からの要望



支部だより

【県北支部】

【通常総会】

日 時 令和7年4月14日（月）
場 所 レオプラザホテル佐世保

【第1回理事会】

日 時 令和7年7月2日（水）
場 所 清水地区コミュニティセンター

【第2回理事会】

日 時 令和7年9月22日（月）
場 所 清水地区コミュニティセンター

【第3回理事会】

日 時 令和7年11月4日（火）
場 所 清水地区コミュニティセンター

【第4回理事会】

日 時 令和8年2月16日（月）
場 所 清水地区コミュニティセンター

【技術講習会・納涼会】

日 時 令和7年8月21日（木）
場 所 レオプラザホテル佐世保



【新年会】

日 時 令和8年2月16日（月）
場 所 清水地区コミュニティセンター

【県央支部】

【通常総会】

日 時 令和7年4月18日（金）
場 所 観光ホテル八千代

【第1回理事会】

日 時 令和7年10月15日（水）
場 所 小栗ふれあい会館

【技術講習会】

日 時 令和7年10月22日（水）
場 所 小栗ふれあい会館

【建築無料相談会】

日 時 令和7年11月1日（土）
場 所 九州ガス株式会社 九州ガス祭り

日 時 令和7年11月15日（土） 土木の日
場 所 諫早市中央交流広場



【島原支部】**【通常総会】**

日 時 令和7年4月18日（金）

場 所 ホテル南風郎

**【第1回理事会】**

日 時 令和7年6月25日（水）

場 所 サンプラザ万町 会議室

【第2回理事会及び監査】

日 時 令和8年3月19日（木）

場 所 サンプラザ万町 会議室

【忘年会】

日 時 令和7年12月23日（火）

場 所 たつみ

【五島支部】**【通常総会】**

日 時 令和7年4月19日（土）

場 所 ホテル上乃家

【壱岐対馬支部】**【通常総会】**

日 時 令和7年4月26日（土）

場 所 半井桃水館

【第1回持ち回り理事会】

日 時 令和8年3月3日（火）

【講習会】

日 時 令和7年12月4日（木） 15:00～

場 所 対馬交流センター

I 部 改正建築基準法及び改正省エネ法

II 部 宅地造成及び特定盛土等規制法（盛土規制法）

**【忘年会】**

日 時 令和7年12月4日（木） 18:00～

場 所 八丁

令和7年11月1日施行の建築基準法施行令の改正について

建築物における木材利用の促進等を図るため、建築物の防火・避難関係規制等を見直す「建築基準法施行令の一部を改正する政令」が、令和7年9月3日に公布され、令和7年11月1日に施行されました。

【概要】 ※図表等は国土交通省説明資料より抜粋

(1) 内装制限の仕上げ・下地の関係性の合理化 (令第112条、令第123条関係)

建築物の防火区画等について、室内の内装の仕上げ及び下地を不燃材料又は準不燃材料で造ることを求めているところ、これに準ずる措置が講じられたものについても認めることとされました。

合理化概要

① 仕上げ及び下地を準不燃材料とする規定 (令第112条第8項及び第14項第一号)

仕上げを準不燃材料とし、かつ、その下地を準不燃材料で造ることに準ずる措置の基準として、**下地を準不燃材料で造ることを要しない措置**を規定した。

② 仕上げ及び下地を不燃材料とする規定 (令第112条第9項及び第11項第一号並びに令第123条第1項第二号及び第3項第四号)

仕上げを不燃材料とし、かつ、その下地を不燃材料で造ることに準ずる措置の基準として、**下地を不燃材料で造ることを要しない措置**を規定した。

	材料名	下地	必要厚		
①	強化せっこうボード (V)	不燃	21mm以上		
	普通せっこうボード		21mm以上(2層以上)		
	けい酸カルシウム板1.0FK		22mm以上(2層以上)		
	けい酸カルシウム板0.8FK		22mm以上(2層以上)		
	けい酸カルシウム板0.5TK		35mm以上		
	けい酸カルシウム板0.2TK		25mm以上		
	ガラス繊維混入セメント板		18mm以上(2層以上)		
	②		製土	小舞下地	片面塗30mm以上 両面塗25mm毎以上
			漆喰	木下地	27mm以上
			モルタル	不燃	25mm以上
			コンクリート・軽集積コンクリート	不燃	25mm以上
			タイル	商業系タイル(12mm以上)	5mm以上
レンガ		不燃	30mm以上		
	普通木毛セメント板	不燃	30mm以上(2層以上)		
	中質木毛セメント板		30mm以上(2層以上)		
	硬質木片セメント板		25mm以上		

(2) 小屋裏隔壁規定の合理化 (令第114条第3項関係)

小屋組が木造である建築面積が300㎡を超える建築物のうち、避難上及び防火上支障がないものとして一定の基準に適合する建築物については、小屋裏への隔壁の設置等を不要となります。

合理化概要

小屋裏(天井のない場合にあっては、小屋組)を有する室又は通路に以下の①～⑥の措置を講じることとする。

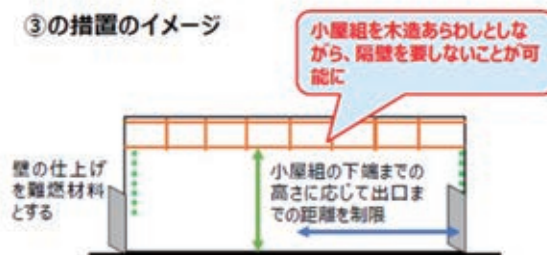
- ① 天井及び壁の内装の仕上げを難燃材料とする等の措置
- ② 天井、壁及び柱における内装の一部分(※)を難燃材料及び木材等で仕上げた場合において、それ以外の部分を準不燃材料仕上げとする等の基準に適合する措置
(※) …室内に面する部分のうち、居室の条件に応じて一定の面積に限る。
- ③ 小屋組の下端までの高さに応じて室の各部分から地上への出口(2階以上の階にある室にあっては直通階段)までの歩行距離を、制限すること等で小屋組を木造あらしとできる措置
- ④ 小屋裏の直下の天井を強化天井とする措置
- ⑤ 桁行間隔十二メートル以内ごとに小屋裏に準耐火構造の隔壁を設ける措置
- ⑥ ④、⑤の措置と①又は②のうちいずれかの措置の併用

室又は通路の間の小屋裏には原則として準耐火構造の隔壁を設けなければならない。

②の措置のイメージ



③の措置のイメージ



(3) 無窓居室に該当する居室の基準の合理化(令第116条の2、令第128条の3の2関係)

無窓居室に該当する居室の基準となる排煙口の面積について、一律に規定するのではなく、排煙口及び給気口の設置位置及び性能に応じた面積となります。

合理化概要

①【開放できる部分の条件】

(ア) 天井から下方80cm以内の距離にある部分(天井高が2.6m以下の場合)

(イ) 床面から1.8m以上の距離にある部分(天井高が2.6mを超える場合) (追加)

②【必要となる開放できる部分の面積】

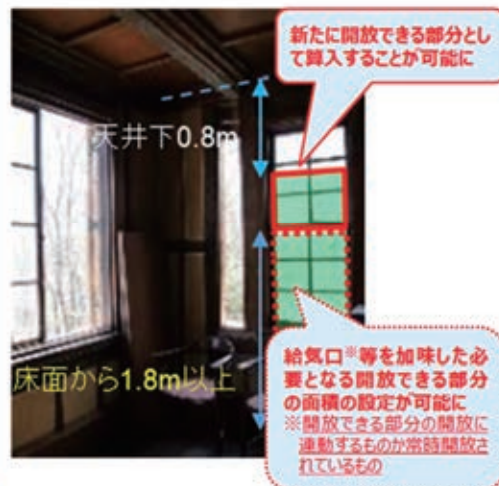
(ア) 居室の床面積の50分の1以上

(イ) 基準に適合する給気口及び排気口が存在する場合には、下記の式で算出した割合以上(追加)

$$\frac{A_{need}}{A_{room}} = \frac{0.375A_a}{\sqrt{(H_c - 1.8) \times A_a^2 - 0.14 \times \left(\frac{1}{50} A_{room}\right)^2}} \times \frac{1}{50}$$

A_{need} : 必要となる開放できる部分の面積 A_{room} : 居室の床面積
 H_c : 当該居室の基準点から当該有効開口部の中心までの高さ A_a : 給気口の開口面積の合計

合理化イメージ



なお、一の居室において天井・床の高さが異なる場合の、壁の開放できる部分とすることのできる部分の取扱いについては、以下の通りです。

①床面の高さが一定でない居室の場合

当該居室の床面のうち、最も高い部分の床面から、天井までの垂直距離

②勾配天井等の天井の高さが一定でない居室の場合

床面から、当該居室の天井の各部分までの垂直距離

③天井及び床の高さがいずれも異なる居室の場合

当該居室の床面のうち、最も高い部分の床面から、当該居室の天井の各部分までの垂直距離

(4) 防煙壁の基準の合理化(令第126条の2関係)

防煙壁として扱うことができる構造として、準耐火構造(その下端から床面までの距離が一定以上であるものに限る。)を追加するとともに、天井面から50cm以上下方に突出したはり(梁)を防煙壁として扱うことが可能であることが明確化されました。

合理化概要

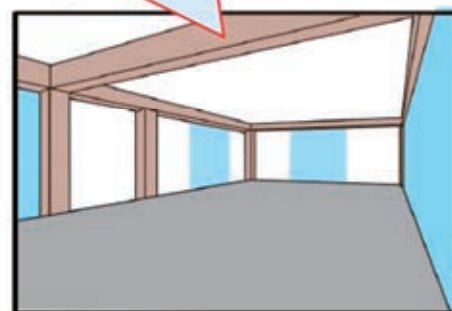
防煙壁のうち床面から居室の面積(防煙区画された部分にあっては防煙区画部分の面積)に応じて国土交通大臣が定めた距離以上の部分を準耐火構造とすることを可能に

床面積に応じて国土交通大臣が定める距離

居室の床面積 (単位 平方メートル)	~ 340	340~ 380	380 ~ 420	420 ~ 460	460 ~
垂直距離 (単位 メートル)	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0

防煙壁のうち準耐火構造とすることができる部分以外の部分は従来どおり、不燃材料で造り、又は覆われたものとする必要がある。

燃えしる設計された梁(天井面から50cm以上下方に突出したものを木のあらわしとしたまま、防煙壁とみなすことが可能に。



合理化イメージ

(5) 自然排煙口の不燃化措置の合理化 (令第126条の3関係)

排煙設備の排煙口のうち、排煙機を設けない自然排煙口については不燃材料で造ることを要しません。

合理化概要

排煙口の内、自然排煙口については、不燃材料以外の材料で造ることを可能とする（機械排煙口は従来どおり不燃材料で造る必要がある）

⇒自然排煙口への樹脂サッシや木サッシの採用が可能に

※排煙の方式は、主に以下の2種が該当する。

自然排煙：直接外気に面する窓等から、自然の力を利用して煙を屋外に排出する方法。

機械排煙：機械力で強制的に煙を屋外に排出する方式。

合理化イメージ



改正前の自然排煙口のイメージ



樹脂サッシ・木サッシの窓枠イメージ

(6) 敷地内通路の合理化 (令第128条の2関係)

大規模な木造建築物等に係る敷地内の通路等について、道路に面する部分の他、避難及び消火上支障がない部分の周囲には通路の設置を不要となります。

合理化概要

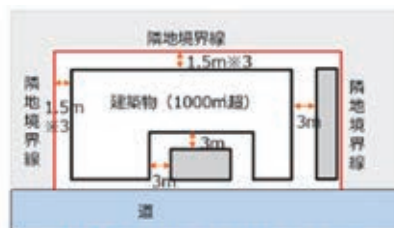
① 火災抑制等建築物の周囲の部分のうち、当該建築物の外壁で開口部を設けない部分等に面する部分



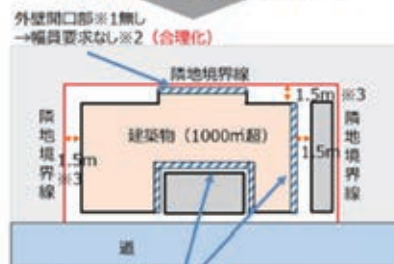
火災抑制等建築物：火災時倒壊防止構造の構造基準を満たすものであって、さらに火災の影響等を一定程度に抑制するために必要な条件を満たすものを新たに規定。

② 避難及び通行の安全上支障のない公園、広場その他これらに類する一定の空地に接する部分

空地のうち、当該敷地との間に柵等がなく、下記に掲げるいずれかに限定。
→当該建築物又はその敷地の所有者が所有するもの。
→当該建築物の敷地に接する部分について、避難及び通行の安全上支障がないよう維持保全が行われることが確認されたもの。



改正前の敷地内通路のイメージ



改正後の敷地内通路のイメージ

- 第1項の対象とならない耐火建築物
- 今回規定の基準に適合する構造
- 外壁開口部※1が無い部分
- ※1. 100cm以下で当該建築物の固有通常火災終了時部以上の遮炎性能を有する防火設備が設けられている部分を除く
- ※2. 基本的に、隣地境界線から50cmは確保される（民法第234条第1項）
- ※3. 建築物が3000mを超える場合において、3m
- ※4. 開口部を有する奥の部分にアクセスするためのルートになっている

(7) 大規模修繕等時に遡及適用しない規定・範囲の対象の追加 (令第137条の12関係)

建築物の大規模の修繕又は大規模の模様替を行う際の現行基準適合義務の緩和措置に屋根、外壁、軒裏の防耐火性能に関する規定が追加されました。

合理化概要

- 今般の改正により、階段の過半の修繕等の建築物の内部における大規模な修繕・模様替の際には、当該工事により防耐火性能が毀損しない外壁や、屋根については、既存遷及を求めない。
- 一方、外壁や、屋根の過半の修繕等の際には、従来通り、防火改修促進の観点から、現行基準適合を求める事を求める。

階段の過半の修繕等の大規模な修繕・模様替に該当する建築物内部の工事に際しては、屋根、外壁等の建築物の外殻については、既存遷及を求めない

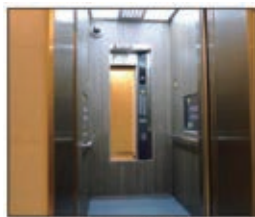


屋根や外壁等は遷及適用しない

(8) 建築基準法の規制対象とするエレベーター、小荷物専用昇降機の範囲の見直し

労働安全衛生法で規制を受けている事業場に設置される簡易リフトについて、建築基準法におけるエレベーター、小荷物専用昇降機に係る規制の対象外となりました。

確認申請及び用途変更の取扱い並びに容積率算定の根拠となる延べ面積の運用については、技術的助言をご参照ください。



エレベーター



小荷物専用昇降機



簡易リフト

【参考資料】

- ・改正政令の概要、新旧対象表等

建築物に係る防火関係規制の見直し等について～「建築基準法施行令の一部を改正する政令」を閣議決定～

https://www.mlit.go.jp/report/press/house05_hh_001079.html

- ・関係告示及び技術的助言

建築基準法等に基づく告示の制定・改正について ※令和7年10月31日公布分を参照

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku_house_tk_000096.html

- ・パブリックコメント時の質疑応答

建築基準法施行令の一部を改正する政令案に関する意見募集の結果について

<https://public-comment.e-gov.go.jp/pcm/1040?CLASSNAME=PCM1040&id=155250720&Mode=1>

建築基準法施行令の一部を改正する政令の施行に伴う関係告示の規定の整備に関する意見募集の結果について

<https://public-comment.e-gov.go.jp/pcm/1040?CLASSNAME=PCM1040&id=155250726&Mode=1>

【お問い合わせ先】

長崎県土木部建築課審査指導班 TEL：095-894-3093 FAX：095-827-3367

賛助会名簿

	事務所名	会員名	所在地	
			TEL	URL
1	アーテック(株)	林田 雅博	〒856-0804 長崎県大村市大川田町435-3 0957-47-9110	
2	曙産業(株)	岩田 伸治	〒852-8134 長崎県長崎市大橋町19番7号 095-846-1735	
3	アダチ産業(株)	前田 恭宏	〒850-0035 長崎県長崎市元船町11番18号 095-821-7611	
4	安達(株)	安達健太郎	〒850-0853 長崎県長崎市浜町1番7号 095-822-0161	
5	(株)イシマル	石丸 太望	〒851-0134 長崎県長崎市田中町587番地1 095-834-0140	
6	(株)イナヅマ電気工事	真崎庸一郎	〒850-0001 長崎県長崎市西山2丁目2番3号 095-825-2220	
7	(株)イルリサーチ	臼井 眞一	〒851-2126 長崎県西彼杵郡長与町吉無田郷2002-3 095-894-5356	https://ill-research.com
8	H・O・C(株)	天野 重治	〒856-0835 長崎県大村市久原2丁目1533-2 0957-53-2112	https://www.hocc.jp
9	(有)エコテック	新宮 孝造	〒854-0022 長崎県諫早市幸町27-10 0957-22-6935	
10	エスケー化研(株)長崎営業所	田中 晋	〒851-2126 長崎県西彼杵郡長与町吉無田郷2035番地6 095-887-0871	
11	(株)エスティテクノロジー	田中 慎一	〒852-8134 長崎県長崎市大橋町8番23号 川原ビル203 095-865-8070	https://st-techno.net
12	(株)大川商店	大川 浩司	〒850-0046 長崎県長崎市幸町3番1号 095-823-2211	
13	(株)オオクラ	辻村 崇	〒851-2103 長崎県西彼杵郡時津町左底郷1-6 095-882-5511	
14	大関化学工業(株) 九州支店	筒井 靖倫	〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾3丁目22-3 092-524-1360	
15	(株)オーレンス	櫻井 誉人	〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2 大森ビル7階 03-6303-3670	
16	小野建(株)長崎支店	深田 芳弘	〒851-2108 長崎県西彼杵郡時津町日並郷新開3610 095-882-4310	
17	オリエンタル白石(株) 長崎営業所	吉永 亨	〒850-0033 長崎県長崎市万才町6-34 第5森谷ビル 095-825-7787	
18	折式田鋼建(株)	折式田一豊	〒850-0875 長崎県長崎市栄町3番4号 095-822-6240	
19	(株)鹿島技研	原中 朋幸	〒820-0111 福岡県飯塚市有安731 0948-96-8175	
20	元旦ビューティ工業(株) 福岡営業所	船木 亮亮	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神3-11-22 (CSビル) 092-712-1691	
21	九州ガス(株)	栗林 宏光	〒854-0022 長崎県諫早市幸町1番23号 0957-22-3320	

	事務所名	会員名	所在地	
			TEL	URL
22	九州テクノ(株)	栗林 宏光	〒854-0065 長崎県諫早市津久葉町6番地10	
			0957-25-3080	
23	九州電力(株) 長崎支店 営業部	中村 政文	〒852-8507 長崎県長崎市城山町3番19号	
			095-864-1893	https://www.kyuden.co.jp/business/service.html
24	九設工業(株)	八百山千成	〒852-8115 長崎県長崎市岡町3番10号	
			095-847-8651	
25	(株)九電工 長崎支店	友池 昌寛	〒852-8117 長崎県長崎市平野町22-40	
			095-840-0800	
26	Q-bicソリューションズ(株)	船橋 修一	〒851-0134 長崎県長崎市田中町1452	
			095-833-0377	
27	旭栄産業(株)	柳 龍一郎	〒852-8108 長崎県長崎市川口町11番3号	
			095-847-3132	
28	グラフィソフトジャパン(株) 福岡営業所	伊佐野 寛	〒810-0801 福岡県福岡市博多区中州5-3-8 アクア博多5階	
			080-2078-1707	
29	(株)クロダ	大平 伸	〒854-0081 長崎県諫早市栄田町20番31号	
			0957-26-3217	https://kuroda-co.com/
30	(株)黒田板金工業	黒田 勝	〒856-0820 長崎県大村市協和町722-2	
			0957-53-6450	
31	ケイミュー(株) 長崎営業所	土屋 昌輝	〒851-0103 長崎県長崎市中里町1696-1	
			095-838-8730	https://www.kmew.co.jp/
32	県央木材協同組合	野副 秀幸	〒859-0112 長崎県諫早市高来町小船津86番地18	
			0957-32-6500	
33	(株)建研 九州営業所	成富 幸弘	812-0014 福岡県福岡市博多区比恵町2番7号	
			092-451-4170	
34	(株)建築構造センター 長崎事務所	樋渡 秀三	〒850-0033 長崎県長崎市万才町3-4 長崎ビル2階	
			095-829-5222	https://www.kozocenter.co.jp
35	(株)建築資料研究社 長崎支店/日建学院長崎校	久芝 洋平	〒850-0876 長崎県長崎市賑町7-12 第6森谷ビル1F	
			095-820-5100	
36	(株)国際確認検査センター 九州支店	山田 耕藏	〒850-0035 長崎県長崎市元船町14-10 橋本商会ビル503	
			095-829-2290	
37	(株)小島工作所	山口 治道	〒854-0066 長崎県諫早市久山町2014番73	
			0957-25-2277	
38	(株)コンステック 長崎営業所	吉田 和也	〒850-0875 長崎県長崎市栄町1-25 長崎MSビル9階	
			095-895-5640	
39	西部ガス長崎(株)	吉田 浩	〒850-0042 長崎県長崎市御船蔵町1番1号	
			095-827-8622	https://www.saibugas.co.jp/nagasaki/index.htm
40	(株)境鉄工所	境 貴幸	〒851-2206 長崎県長崎市三京町2842-3	
			095-850-0055	
41	(株)サンエイ	森 栄一郎	〒854-0001 長崎県諫早市福田町10-1	
			0957-22-2300	
42	三協立山(株) 三協アルミ社 長崎営業所	恩田 太郎	〒854-0072 長崎県諫早市永昌町6-22	
			0957-25-6000	

賛助会名簿

	事務所名	会員名	所在地	
			TEL	URL
43	三晃金属工業(株) 長崎営業所	深町 昌広	〒850-0032 長崎県長崎市興善町2-21 明治安田生命長崎興善町ビル9F 095-826-6681	https://www.sankometal.co.jp/
44	三洋工業(株)長崎営業所	野田 裕文	〒852-8154 長崎県長崎市住吉町17-1 095-847-3501	
45	(株)三洋工業九州システム	上妻 幸也	〒852-8154 長崎県長崎市住吉町17-1 095-840-0505	
46	三和シャッター工業(株) 長崎統括営業所	力石 恭伸	〒851-2129 長崎県西彼杵郡長与町斉藤郷53-1 095-883-5530	
47	四国化成工業(株)	林 英司	〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目13番21号 クレセントビル 092-431-4111	
48	ジャパンエレベーターサービス九州(株)	須山 亮	〒850-0032 長崎県興善町6-5 興善町イーストビル1階 095-893-8610	https://www.jes24.co.jp/ja/index.html
49	(株)松栄設備	平野 義高	〒850-0007 長崎県長崎市立山5丁目4番30号 095-824-1793	
50	(株)シンエイ	中沼 達也	〒852-8121 長崎県長崎市三川町800番地40 095-846-0775	
51	(有)末次材木店	末次 康成	〒851-2102 長崎県西彼杵郡時津町浜田郷728番地1 095-882-2816	
52	(株)西部工建	濱崎 隆	〒857-1172 長崎県佐世保市東浜町879-4 0956-31-1812	https://www.seibu879.co.jp
53	総合資格学院 長崎校	福山 裕昭	〒850-0861 長崎県長崎市江戸町6-5 江戸町センタービル4F 095-816-3611	
54	DEIKEN(株) 九州支店 長崎事務所	水崎 秀一	〒854-0061 長崎県諫早市宇都町5-22 プレザント宇都1F 0957-35-0161	
55	タイヘイ(株)	徳本 寛	〒850-0055 長崎県長崎市中町4番10号 095-827-4015	https://taihei-up.co.jp/
56	太陽工業(株)九州支店	仁井谷修治	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-15-19 K.S.T駅東ビル5F 092-411-8003	https://www.taiyokogyo.co.jp/
57	タカシマホールディングス(株)	高島正太郎	〒854-0031 長崎県諫早市小野島町2223-1 0957-24-3011	
58	(株)タカラ電設	古賀 達一	〒852-8145 長崎県長崎市昭和3丁目3番20号 095-847-8572	
59	(株)タムラクレーン	田村 真一	〒859-3811 長崎県東彼杵郡東彼杵町大音琴郷161-2 0957-46-1722	
60	(有)常勝建工	常盤 育夫	〒851-2107 長崎県西彼杵郡時津町久留里郷1439-13 095-882-3832	
61	寺岡オートドア(株) 長崎営業所	舘村 弘文	〒851-0134 長崎県田中町349番地 095-813-3821	
62	TOTO(株)長崎営業所	玉井 健司	〒854-0066 長崎県諫早市久山町2313番地4 0120-43-1010	
63	(株)富建	原田 岳	〒856-0806 長崎県大村市富の原1丁目1545-1 0957-53-2145	

	事務所名	会員名	所在地	
			TEL	URL
64	長崎運送(株)	早石 朝廣	〒850-0075 長崎県長崎市西泊町22番38号 095-894-8703	
65	(一財)長崎県住宅・建築総合センター	宮原 和明	〒850-0035 長崎県長崎市元船町17番1号 095-825-6944	長崎県大波止ビル2階 https://www.nagasaki-jkc.jp
66	長崎電気(株)	柴田 正明	〒850-0936 長崎県長崎市浪の平町1-35 095-822-3164	https://www.nagasaki-denki.co.jp
67	(株)長崎日調	萩原 悟	〒854-0081 長崎県諫早市栄田町22番50号 0957-26-2666	
68	(株)長崎ベニヤ	末次 伸至	〒850-0001 長崎県長崎市西山4丁目542番地 095-821-3325	
69	(株)鍋順	山崎 春雄	〒851-2108 長崎県西彼杵郡時津町日並郷3644番地 095-882-8091	https://www.nabejun.net
70	(株)ニーテックハマナカ	浜中 信光	〒851-2101 長崎県西彼杵郡時津町西時津郷1000番地248 095-882-2204	
71	西日本サッシ工業(株)	小溝 忠徳	〒854-0065 長崎県諫早市津久葉町99-40 0957-27-1200	
72	西日本ビルテクノサービス(株)	生田 誠	〒850-0036 長崎県長崎市五島町6-19 松竹ビル内 095-823-1882	
73	ニチハ(株)福岡営業所 長崎オフィス	神野 朋一	〒850-0028 長崎県長崎市勝山町37番地 095-820-3411	長崎勝山37ビル7F https://www.nichiha.co.jp
74	日成ビルド工業(株) 長崎営業所	久保 忠	〒850-0862 長崎県長崎市出島町1-14 095-832-8900	出島朝日生命青木ビル7F https://www.nisseibuild.co.jp/
75	日本ERI(株)長崎支店	三原 真治	〒850-0033 長崎県長崎市万才町3-5 095-826-6141	朝日生命ビル4F https://www.j-eri.co.jp/
76	日本住宅パネル工業(協) 西日本支所長崎営業所	立川 智一	〒850-0027 長崎県長崎市桶屋町25番 095-822-6171	TrusteeBLD7階
77	日本ファシリオ(株) 長崎支店	菅沼 浩二	〒850-0051 長崎県長崎市西坂町2番3号 095-823-8676	長崎駅前第一生命ビル3階 https://www.j-facilio.com/
78	(有)野口鉄工所	野口 新	〒852-8142 長崎県長崎市三ツ山町31-4 095-848-4767	
79	(株)野田市兵衛商店	野田 和宏	〒862-0967 熊本県熊本市南区流通団地1丁目55番地 096-377-2080	
80	(株)ハクエイ	松尾 伸司	〒852-8133 長崎県長崎市本原町26番15号 095-849-2232	
81	パナソニックハウジングソリューションズ(株) 北部九州営業部長崎営業所	奥村 篤	〒851-0103 長崎県長崎市中里町1696-1 050-3066-7048	
82	ピーエス・コンストラクション(株) 九州支店	中村 誠治	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜2-4-1 092-739-7008	東芝福岡ビル https://www.psc.co.jp/
83	福井コンピュータアーキテクト(株) 九州営業所	古見田玲子	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅前2-2-13 092-475-5300	博多駅前ビル3F https://archi.fukuicompu.co.jp/
84	(株)不二サッシ九州 長崎営業所	和田 祐一	〒852-8117 長崎県長崎市平野町22-24 095-848-3282	ヤマックスビル http://www.fujisash.co.jp/ss/kyusyu/

賛助会名簿

	事務所名	会員名	所在地	
			TEL	URL
85	フジテック(株) 西日本支社九州支店長崎営業所	水野 資之	〒850-0046 長崎県長崎市幸町7番1号 STADIUM CITY NORTH 6F	
			095-846-4871	https://www.fujitec.co.jp/
86	(株)富士ピー・エス 九州支店	添島 浩喜	〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通2丁目4-8 福岡小学館ビル9F	
			092-716-1120	
87	富士ビル総合(株)	諸岡 進	〒850-0056 長崎県長崎市恵美須町4番7号	
			095-827-2463	
88	文化シャッター(株) 長崎営業所	井手口 淳	〒851-0134 長崎県長崎市田中町587-5	
			095-830-2711	
89	本田商會(株)	本田 郷之	〒852-8016 長崎県長崎市宝栄町22-21	
			095-861-9555	
90	マツナガ防水産業(株)	松永 定信	〒852-8143 長崎県長崎市川平町1142番地4	
			095-848-0860	
91	(株)水上洋行	山下 真一	〒852-8034 長崎県長崎市城栄町10-10	
			095-844-4308	
92	(株)溝上建装	溝上 元規	〒859-0402 長崎県諫早市多良見町囀255番地15	
			0957-43-1468	
93	(株)ライムイシモト	石本潤治郎	〒854-0063 長崎県諫早市貝津町2071番地7	
			0957-26-1662	
94	(株)LIXIL九州支社 長崎営業所	加賀 寛彦	〒859-0403 長崎県諫早市多良見町市布1545-1	
			0957-27-2717	http://www.lixil.co.jp
95	菱和商事(株)	蔵岡康太郎	〒850-0027 長崎県長崎市桶屋町45番地	
			095-823-4312	https://ryowa-shoji.jp
96	YKKAP(株)長崎支店	岩坪 慎司	〒850-0042 長崎県長崎市御船蔵町2番3号 長崎駅前電気ビル2階	
			095-801-5400	https://www.ykkap.co.jp

編集後記

■ 國本 眞市 委員長

今回も委員長として活動させていただきました。事務局ならびに委員の皆様にはご負担をおかけする場面もありましたが、皆様のご協力のおかげで、楽しく活動を進めることができました。

また、資料提供にご協力頂きました森トラスト株式会社様をはじめ、関係各社の皆様に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

■ 廣川 祐輔 副委員長

広報・渉外委員会として、昨年度よりは現地視察、編集作業などにかかわることで、委員会の一員として少しはお手伝いが出来たと思います。

委員長をはじめ委員の皆様お世話になりました。



■ 一丸 康貴 委員

今回の特集は「ホテルインディゴ長崎グラバーストリート（旧マリア園）」です。（株）森トラスト様から資料を提供して頂きました。1898年竣工以降、様々な使われ方を経てホテルへと生まれ変わりました。外観はもちろんの事、内部空間にも様々な長崎をモチーフとしたデザインが施されています。是非、会員の皆様にも体験して頂きたいです。この場を借りて資料をご提供頂きました（株）森トラストさんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

■ 鯖江 康裕 委員

今回特集記事で取り上げたホテルインディゴ長崎グラバーストリート。昨年からの取材をさせて頂き、森トラスト様からも膨大な資料を頂いたり、取材協力にに応じていただいたのですが・・・。何せ編集や取材のプロではないので、すべてを伝える事ができたかどうか不安が残るところです。

■ 本多 勝雄 委員

なかなか参加できていなかった委員会に、今回初めて参加させていただきました。普段あまり足を運ぶことのない東山手・南山手地区にて、ホテルインディゴ長崎様を見学し、聖堂建築や和華蘭文化に触れられたことは、非常に印象深い貴重な体験となりました。

広報・渉外委員会では、皆様のご意見をお待ちしております。

発行者／一般社団法人 長崎県建築士事務所協会
事務局／〒850-0874

長崎市魚の町3-33
長崎県建設総合会館4階

TEL 095-826-7010

FAX 095-826-7968

E-mail : info@nagasaki-jk.net

https://www.nagasaki-jk.net/

広報・渉外委員

委員長／國本 眞市

副委員長／廣川 祐輔

委員／一丸 康貴、鯖江 康裕、村岡 公輔
本多 勝雄、中原 晋輔

印刷所／(株)インテックス 長崎市幸町6番3号

TEL 095-826-2200

